

四万十

平成22年

4

No.60

2010 April



市政懇談会(古津賀ふれあい会館)

一緒に考える

市政懇談会は昨年十月、東富山地区からスタート。三月までに中村地域十二か所を実施し、延べ約四〇〇人の市民が参加しました。

日々の生活や暮らしの中で感じている地域の問題や課題、市政全般への意見、提言、質問等を出していただき、それに市側が答え、意見交換をする形で進められています。

提言等は可能な限り予算に反映させるなど、今後の市政運営に活かしていくことにしています。

四月からは引き続き西土佐地域において、分館単位(十二か所)で実施いたします。

■今月の主な内容

- ▼ 新庁舎への移転および見学会のお知らせ…………… 2
- ▼ 四万十市議会議員選挙のお知らせ…………… 4
- ▼ 市長施政方針…………… 8
- ▼ 平成二十二年度当初予算…………… 12
- ▼ 家屋全棟調査を行います…………… 15
- ▼ 新任医師紹介…………… 20

新庁舎が完成!

5月6日(木)から新庁舎での業務を開始します。

新庁舎の工事を開始して1年6ヶ月が経過し、皆さまのご協力により工事も順調に進み新庁舎が完成しました。4月の中旬から5月の連休にかけて現庁舎や駅前町の仮庁舎も新庁舎への引っ越し作業を行い、5月6日(木)より新庁舎での業務を開始します。

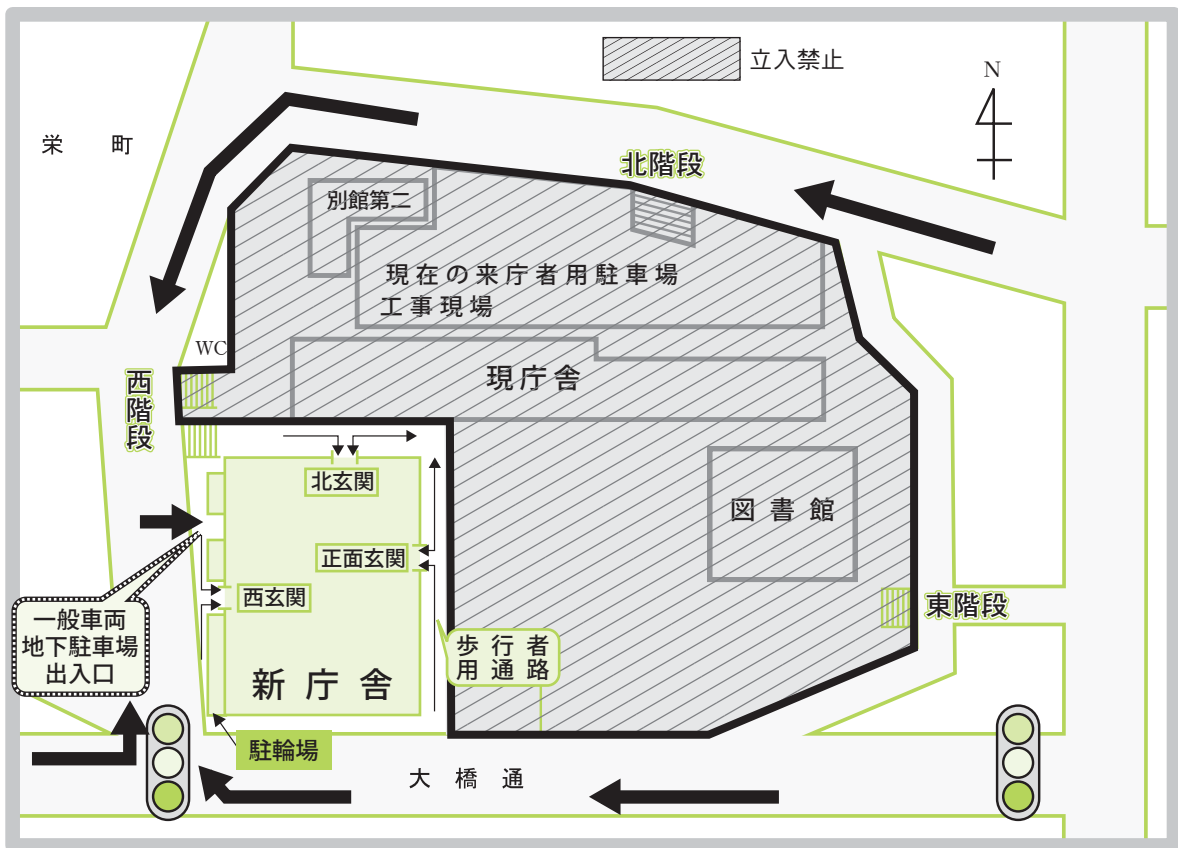
その後は、旧庁舎および図書館の解体工事、付属棟の建設や外構工事を12月末までの工期で行います。

新庁舎への移転後は現在の裏庭駐車場が工事現場となるため使用できなくなり、下図のとおり、出入り口や駐車場が変更になります。(5月1日より現在の裏庭駐車場を閉鎖します。)

徒歩の場合、西側(栄町側)からは庁舎西玄関出入り口か西階段を利用して北玄関出入り口から、南側(大橋通側)からはスロープを利用し正面玄関出入り口から庁舎へお入りください。

自転車、バイクは庁舎西側の駐輪場に停めてください。車の場合は、庁舎西側の市道より進入し、地下駐車場へ駐車してください。ただし、高さ制限がありますので、高さが2.1mを超える車については、係員が仮駐車場(大橋通5丁目)へのご案内をしますので、こちらへ駐車してください。なお、地下駐車場については、5月6日(木)より現在同様、平日は午後10時まで、土、日、祝日も午前8時から午後10時まで開放します。

引き続き工事期間中は、近隣の皆さまをはじめ、市民の皆さまにはご迷惑をおかけしますが何とぞご理解、ご協力をお願いします。



新庁舎の見学会開催(お知らせ)

新庁舎での業務開始を控え、市民の皆様を対象とした施設内の見学会を開催します。下記によりご参加ください。

- 1 日時 平成22年4月27日(火)
- 2 集合時間 午前10時及び午後2時(どちらかの時間にお集まりください。)
- 3 集合場所 新庁舎正面玄関(建物東側) ※上履きを必ず持参してください。

《新庁舎の各階には次の部署等が配置されます。》

階数	主な配置計画	階数	主な配置計画
7階	議場・議会事務局・正・副議長室	3階	市長室、副市長室、総務課、企画広報課、商工観光課、選挙管理委員会
6階	学校教育課、監査事務局、人権啓発課	2階	図書館
5階	建設課、都市整備課、農林課、農業委員会	1階	市民課、税務課、福祉事務所、保健介護課、会計課、市民ロビー
4階	財政課、地球環境課、保健介護課(保健衛生係)	地下	来客用駐車場(平成22年12月末まで) 公用車駐車場(平成23年1月以降)

問い合わせ先 総務課 庁舎建設推進室 ☎(35)4147

市長談話室

いのちの山河

市長 田中 全

沢内村と西土佐村。二つの村はいまはもうありませんが、その名は歴史に刻まれています。ともに保健活動において全国モデルとなりました。

岩手県沢内村(合併後西和賀町)は、日本で最初に老人医療費無料化を始めた村です。昭和三十五年(一九六〇年)のことです。二年後、地域包括医療実践計画を策定。翌年、国でも老人福祉法が制定され、初めて老人福祉の概念が法的に明確にされ、社会保障制度としての高齢期保障が整備されていくさきがけとなりました。

その沢内村の歴史を描いた映画「いのちの山河」の完成試写会がありました。原作は及川和男の小説『村長ありき―沢内村深沢晟男の生涯―』です。

おとし後期高齢者医療制度が始まり、高齢者保障制度が後退するなかで、いまあらためてその原点であった沢内村が注目をされているのです。

沢内村は秋田県境の豪雪地帯の山間部。病気になっても医者にかかるのは死亡診断書をもたらす時だけという「豪雪・多病・貧困」の厳しい状況下にありまし

た。映画では、のちに「生命村長」と呼ばれた深沢晟男村長が村政の最大の課題を「村民の生命を守ること」に置き、強いリーダーシップのもと、住民参加の保健活動を展開したことが感動的に描かれています。村職員が村民とひざを突き合わせた議論を重ね、村民がその呼びかけに応じて主体的に動く。熱い対話により村民の力を引き出したのです。

見どころは、当時、医療費無料化が国、県から国民健康保険法違反になるとして圧力がかかったのに対し、深沢村長が憲法二十五条を盾に、「少なくとも憲法違反にはならない。国がやらないから村がやるんです。国はあとからついてきますよ」と堂々と言い放った場面です。沢内村は無料化実施の翌年、乳児死亡率ゼロという全国初めての記録をつくりました。

西土佐村は沢内村に学びました。昭和五十七年、議会の教育民生常任委員会が沢内村を訪問視察。同村健康管理課照井富太主幹を招いて、江川崎の中西旅館で講演会を開くなど交流を重ねるなかで、秋田県から宮原伸二医師を迎え、昭和六十年、各集落に保健推進委員会を結成。保健センターも開設。住民主体の健康づくり運動Ⅱ保健予防活動に取り組みました。その後、村民一人あたりの老人医療費は県内最低になりました。

当時の四診療所のうち三つは出張診療所(週一回)になりましたが、現在も多くの地区の保健推進委員さんががんば

っています。おとし、当時の議員さんたちが沢内を再訪するなど、いまでも交流を続けています。

いま当時より過疎や高齢化が進んでいます。市政懇談会でも、自治活動や地域福祉活動に支障をきたすなど集落の維持がむずかしくなってきたという実情が報告されています。そうしたことが健康に対する不安を増幅させています。

二月二十八日、市主催で「保健・医療・福祉連携シンポジウム」を社会福祉センターで開きました。そこで確認されたのは、こうした問題を解決していくためには、役所だけでなく、また医療機関や福祉関連事業者だけでなく、地域住民も含めた相互の連携した取り組みでなければならぬということでした。かつての西土佐村がよい例です。

当市の新年度事業では、こうした連携事業など「市民の生活と健康を守る」ための新しい取り組みを始めます。集落維持がむずかしくなってきた地域を対象に、その対策を一緒に考える市職員を「地域づくり支援員」として配置(兼務)するほか、大学生などの若者との交流を地域活性化につなげる「地域集落再生事業」(西土佐)などです。

私は深沢村長の次の言葉を胸に刻みたいと思います。

「村民が力を合わせればどんなことでもできるということを立証しました。沢内村民であることに自信と誇りをもってください」

市長の仕事

2月9日～3月15日

- 2月9日 市障害者グラウンドゴルフ大会
- 10日 田野川甲地区要望受
- 10日 四万十市医師会訪問
- 12日 中村地域区長会
- 16日 中筋川流域委員会
- 17日 横瀬地区要望受
- 21日 市政懇談会(具同地区)
- 23日 環境にやさしい農業推進交流大会
- 23日 一条太鼓定期演奏会
- 24日 幡多地区・四万十市合同婦人大会
- 24日 みかじめ料等縁切り同盟意見交換会
- 25日 社会福祉協議会との意見交換会
- 25日 市政懇談会(東山地区)
- 25日 平成22年度当初予算記者発表
- 27日 幡多広域市町村圏事務組合議会
- 28日 四万十つるの里祭り
- 3月1日 保健・医療・福祉連携シンポジウム
- 3月1日 3月議会開会(～17日)
- 2日 幡多農高卒業祝賀会
- 2日 北海道別海町文化連盟表敬訪問受
- 3日 県医師確保推進課、県国保連合会協議(高知市)
- 4日 市シルバー教室閉級式
- 4日 西南地域道路整備促進協議会要望
- 6日 男女共同参画防災訓練
- 7日 ふれあい消防フェア
- 7日 市体育協会創立40周年記念式典
- 12日 西土佐森林組合通常総会
- 13日 中村市森林組合通常総代会
- 13日 西土佐岩間地区要望受
- 13日 市観光開き(三里沈下橋)
- 14日 八束中学校卒業祝賀会
- 15日 西土佐商工会要望受
- 15日 地域公共交通活性化協議会

市政

教育

くらし

情報掲示板

四万十市議会議員選挙のお知らせ

投票のできる人

☆今回の四万十市議会議員選挙の選挙時登録の基準日は4月10日となっていますので、平成22年1月10日までに四万十市に転入届をして、引き続き四万十市に居住している人。
☆平成22年4月19日までに生まれた人。

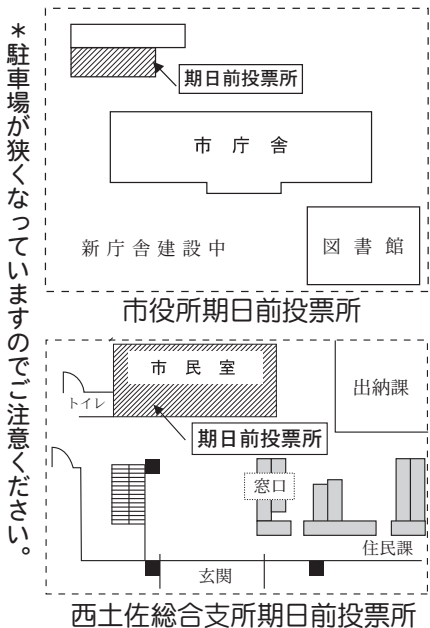
市内転居者の投票所

市内で住所を変わり、平成22年4月3日以降に転居届をされた人は、前の住所の投票所へ行ってください。

期日前(不在者)投票

☆投票日に投票所へ行って投票できない人は4月12日から4月17日まで毎日午前8時30分から午後8時まで、市庁舎裏の四万十市庁舎別館第二棟および四万十市西土佐総合支所1階(左図参照)で投票できます。この場合、宣誓書に申し立てが真正であることを記載していただきます。

※期日前投票とは：投票当日の投票所のように投票用紙をそのまま投票箱に投函できる投票です。ご利用ください。



*駐車場が狭くなっていますのでご注意ください。

☆不在者投票期間に市外に滞在して市外の市町村選管で投票しなければならぬ場合、市選管に対して早めに投票用紙等の請求はできませんが、市選管が投票用紙等を発送する日は4月9日からです。

郵便による在宅投票制度

身体障害者手帳または戦傷病者手帳の所持者、介護保険の被保険者証に要介護状態区分が要介護度5であると記載されている方で、市選管より郵便投票証明書を交付された方は郵便による在宅投票ができます。また、身体障害者手帳に上肢または視覚の障害の程度が1級であると記載されている方、肝臓の障害の程度が1級から3級までであると記載されている方、戦傷病者手帳に上肢または視覚の障害の程度が特別項症から第2項症までであると記載されている方、肝臓の障害の程度が特別項症から第3項症までであると記載されている方については、あらかじめ市選管に届け出た代理記載人によって代理投票により投票することができます。

郵便投票のできる人は、投票日の4日前(4月14日)までに、郵便投票証明書を同封し市選管に投票用紙等の交付申請をしてください。

代理投票

身体の故障等で字の書けない人も投票日に投票所にいけば、代理記載の補助者によって投票ができます。

入場券

投票所入場券を発行しますので投票日当日、投票所に持参してください。入場券を紛失または届いていない場合でも、名簿に登録されている方であれば、入場券がなくても投票できます。

場所の問い合わせの多い投票所



(古津賀地区集会所)
第8投票所



(市立まなびの館)
第21投票所



第3投票所(不破地区集会所)

凡	例
■	投票所
●	投票所案内用立看板

※各投票所は四万十市公式ホームページにて確認することができます。
<http://www.city.shimanto.lg.jp/gyosei/senkyo/>

ホーム

重要なお知らせ

4月18日執行四万十市議会議員選挙投票所一覧

投票所および投票時間一覧表

地区別	投票区	区 域	投 票 所	投票時間
中 村	第1	大橋通1～7丁目、百笑町、山手通、弥生町、四万十町、羽生小路、東下町、栄町、天神橋、一条通1丁目、カツラ山団地、岩崎町、夕陽の見える丘団地	四万十市役所	投票開始は、 7時から 市内全投票所で 午後7時まで
	第2	右山、右山元町1～3丁目、駅前町、右山五月町、右山天神町、右山白藤園	市立中央公民館	
	第3	不破、角崎、不破上町、緑ヶ丘団地	不破地区集会所	
	第4	京町1～5丁目、一条通2～5丁目、東町1～3丁目、新町1～5丁目、於東町	四万十市多目的デイケアセンター	
	第5	小姓町、上小姓町、丸の内、桜町、愛宕町、本町1～5丁目、丸の内ハイランド、大用寺	市立文化センター	
東 山	第6	安並、佐岡、秋田、麻生、安並団地、秋森、佐岡団地	市立東山保育所	午後7時まで
	第7	沢、橋の内、古津賀第1団地、同第2団地、雅ヶ丘団地	古津賀第2団地集会所	午後6時まで
	第8	古津賀、古津賀1～4丁目	古津賀地区集会所	
下 田	第9	井沢、井沢団地	井沢団地集会所	午後6時まで
	第10	竹 島	竹島地区集会所	
	第11	双 海	双海地区集会所	
	第12	平 野	平野地区集会所	
	第13	鍋島、馬越	四万十川下流交流センター	
	第14	松ノ山、下田上、下田下、串江	下田地区集会所	
八 束	第15	水戸東、水戸西	水戸公民館	午後6時まで
	第16	名 鹿	名鹿地区集会所	
	第17	間崎、津蔵淵、初崎	間崎多目的集会所施設	
	第18	実崎、深木	実崎地区集会所	
具 同	第19	坂本、山路上、山路下	山路多目的集会所	午後6時まで
	第20	入田上、入田下	入田地区集会所	
	第21	出来島、田黒、具同田黒1～3丁目、渡川1～3丁目、渡川、渡川病院、赤松町	市立まなびの館	
東 中 筋	第22	中組、西組、馬越、自由ヶ丘、相ノ沢団地	具同地区集会所	午後7時まで
	第23	森沢	森沢集会所	
	第24	荒川、楠島、国見、間	市立東中筋保育所	
中 筋	第25	江ノ村、西ノ谷	江ノ村地区集会所	午後6時まで
	第26	上ノ土居、磯ノ川、生ノ川	磯ノ川地区集会所	
	第27	有岡、九樹、有岡団地	有岡消防屯所	
	第28	横 瀬	横瀬地区集会所	
大 川 筋	第29	手洗川	手洗川地区集会所	午後6時まで
	第30	田出ノ川、高瀬、楠、川登	市立公民館大川筋分館	
	第31	鶴ノ江	鶴ノ江地区集会所	
	第32	勝 間	市立勝間小学校	
	第33	勝間川	勝間川地区集会所	
	第34	久保川	久保川地区集会所	
後 川	第35	三 里	三里地区集会所	午後6時まで
	第36	佐 田	佐田地区集会所	
	第37	利岡、岩田、若藤(出合を除く)	市立利岡保育所	
	第38	板ノ川、口鴨川、若藤分出合	板ノ川地区集会所	
	第39	中鴨川、奥鴨川	市立公民館鴨川分館	
藤 岡	第40	田野川乙、敷地	田野川乙集会所	午後6時まで
	第41	田野川甲	田野川甲構造改善センター	
	第42	藤、上分、下分、内川、ふるさとホーム	藤岡生活改善センター	
富 山	第43	伊才原	市立公民館伊才原分館	午後6時まで
	第44	下古尾	西富山活性化センター	
	第45	竹屋敷	竹屋敷公会堂	
	第46	上古尾	上古尾地区集会所	
	第47	大西ノ川	大西ノ川地区集会所	
	第48	大用、小西ノ川	富山地区集会所	
	第49	住次郎	住次郎地区集会所	
	第50	片魚	市立片魚小学校	
西 土 佐	第51	常六、大屋敷	市立常六小学校	午後5時まで
	第52	三ッ又	三ッ又地区集会所	
	第53	黒尊	黒尊森林事務所休憩所	
	第54	奥屋内上	奥屋内上公会堂	
	第55	奥屋内下	奥屋内下集会所	
	第56	玖木	市立公民館玖木分館	
	第57	口屋内	口屋内公民館	
	第58	中半	中半集会所	
	第59	岩間、茅生	岩間農林産物集出荷所	
	第60	藤ノ川	藤ノ川農林漁家活動促進施設	
	第61	橘	橘集会所	
	第62	津野川	津野川集会所	
	第63	津賀	津賀集会所	
	第64	藪ヶ市、須崎	須崎集会所	
	第65	大宮下	大宮下集会所	
	第66	大宮中	大宮生活改善センター	
	第67	大宮上	大宮上集会所	
第68	下家地、中家地	下家地集会所		
第69	方の川、西ヶ方	市立西ヶ方小学校		
第70	下方	下方集会所		
第71	宮地、奈路、館	西土佐総合支所		
第72	用井	用井集会所		
第73	長生	長生集会所		
第74	奥半家	半家集会所		
第75	中半家、本村半家、本村	市立本村小学校		
第76	中組	江川流域交流センター		
第77	押谷、権谷	権谷せせらぎ交流館		

市
政

教
育

く
ら
し

情
報
掲
示
板

市政に市民の声を

— 市政懇談会での主なご意見・ご質問 —

Q 福祉・医療や防災面などでいろんな問題をかかえている。市役所はもっと地域に入って来てほしい。

A そういう市役所に変えていく。この市政懇談会もその一つである。

Q 区画整理後の新しい地区組織の設立について支援をお願いしたい。

A 市がどのような形でかわっていきけるのか、早速庁内で検討させていただく。

Q 雅ヶ丘団地の難視聴解消に向けた具体的な計画はどのようなか。

A ケーブルテレビで対応したい。本年度中に国の補助金交付決定を受けたあと予算を繰り越し、来年度中に整備する予定である。

Q 古津賀東保育所跡地の売却予定は。

A 現在、鑑定評価が済んだ段階である。早速、一般競争入札での売却手続きを進めて行きたい。

Q 市出身者らで組織する市政への協力者制度はあるか。

A 現在のところないが、来年度「ふるさと応援団推進事業」をスタートさせ、当市を応援してくださる方々を募集していく予定である。

Q ウルトラマラソンのねらいは。

A 達成感をもって人と人の結びつきを強めることで地域おこしにつながるような契機としたい。また、この大会を通して移住される方が増えることを期待している。



東山地区

開催日: 2月24日
場所: 古津賀ふれあい会館
参加者: 35名



中村地区

開催日: 3月23日
場所: 中央公民館
参加者: 23名

Q 高齡化社会が進行する中で高齢者を大事にする市政を展開してほしい。

A 市政の柱として来年度予算を増額した。今後も少子・高齡化対策は両輪で力を入れていきたい。

Q 特別養護老人ホームは高額であるうえ空きもない状況であるが、市営の老人ホームを開設することで解消できないか。

A 施設や病床数を増やすことには一定の制約がある。まずは介護が必要な方を地域で支え合える体制づくりに努めたい。

Q 新庁舎完成を機に抜本的な中心市街地活性化対策を。

A 来年度予算で新たな空き店舗対策と商振連婦人部等への助成を行う。また、農・商・工連携による新たな産業をおこすなど、官民一体となって取り組んでいきたい。

Q アークード内の車両通行を可能にしてはどうか。

A 現在、通行止め時間帯の見直しなども含めて関係先等と協議、検討している。

Q 桜まつりが始まったが、為松公園上り道に灯りを増やしてほしい。

A 寄付が集まりにくいなど予算的な問題もあるが、今後、観光協会とも協議していく。

今後の開催予定 (3月24日現在)

4月20日 藤ノ川分館(農林漁家活動促進施設) 午後7時から
4月27日 権合分館(集会所) 午後7時から

問い合わせ先

(本庁)企画広報課 広報公聴係 ☎(34)61128
(総合支所)総務課 地域振興係 ☎(52)11111

「子ども手当」制度が始まります。

申請手続きをお忘れなく。

平成22年度から、「児童手当制度」に代わり、新たに「子ども手当制度」が始まります。

子ども手当は、中学校修了前(中学3年生)までの子どもさん1人あたり月額13,000円が支給されます。

次の方は、認定申請が必要となりますので、申請手続きをお願いします。(公務員の方は勤務先で手続きをしてください。)

認定申請手続きの必要な世帯

①平成22年度において中学2・3年生(平成7年4月2日〜平成9年4月1日生まれ)となる子どもさんがいる世帯

②所得制限などにより、平成21年度において児童手当の支給を受けていない世帯

※平成21年度に児童手当の支給を受けている①以外の世帯は、今回の認定申請の必要はありませんが、6月の現況届の提出が必要です。(後日、通知を送ります。)

※認定申請に必要なもの

- ・印鑑
- ・受給者となる方の健康保険被保険者証(厚生年金加入者のみ)
- ・受給者となる方の名義の通帳

受付期間

平成22年9月30日(木)まで①、②の世帯
受付時間 8時30分〜17時15分
(土日祝、昼休み除く)

(この期間までに受付をすれば、特例として平成22年4月分まで遡及して支給されます。)

問い合わせ先

(本庁)福祉事務所 家庭福祉係 ☎(34)11200
(5月6日からは中村大橋通の新庁舎になります)
(支所)福祉事務所分室 保健課内 ☎(52)1132

「保健・医療・福祉連携シンポジウム」



日本福祉大学大学院
牧野忠康 教授



健康で長生きするために、病気の予防から病気とのつきあい方までのつながりをつくることを目的とした「第1回保健・医療・福祉連携シンポジウム」（主催・四万十市）が2月28日に社会福祉センターで開催され、約120人の市民が参加しました。

主催者を代表して田中全市長が「市民のいのちや健康を守る市政を確立するためには個別分野の取り組みだけでは不十分で各分野の連携を深めていきたい」とあいさつした後、日本福祉大学大学院の牧野忠康教授が「地域医療における自治体病院の役割と地域づくり」と題した講演を行いました。

牧野先生は地域医療について「おまかせの医療」から「参加する医療」に変わる必要があること強調し、市民が健康づくりから医療、介護、社会福祉に参加しなければ地域医療とは言えないことや、自治体病院の役割は「地域をまもること」、そのためには保健・医療・福祉の各分野の人と組織のネットワークづくりが欠かせないことを分かりやすく講演しました。

続いて次の3人から実践報告が行われました。

「市民病院を守る会」の取り組み



市民病院を守る会世話人 景平博司さん

透析を受けていることもあって、市民病院のことが「荷になつている」。昨年の11月29日に120名余の参加者で「市民病院を守る会」を結成した。役員会では切実な話もたくさん出ているので、アンケートなども行うことを計画している。

自分自身は少しでも元気なうちに人の役に立ちたいと思っっているのに、地区の役員なども断らないで引き受けるようにしている。



「えっころネット」の活動で見えてきたこと



えっころネット代表 芝 伸悟さん

「えっころ」は幡多弁で「とても良い」のような意味なので、「とても良いネットワーク」をつくりたいと思って、医療・福祉の専門職員が横断的に集まってえっころネットをつくった。専門職員の資質や福祉力の向上への直接支援と地域活動に参加することで地域への直接支援を行うことを目的としている。これまで40ヶ所以上の地域にお邪魔して活動してきた。その中で三つのことが見えてきた。

イ 住民の方は地域づくりに意欲があるが何をすれば良いのか分からない状況であるというところ。

ロ 成年後見や自立支援などの福祉・介護の制度に関する情報不足

ハ 虚弱な体になっても地域で暮らしていけるのか不安特に高齢そのものに不安を抱いていると言ったこと

「無料低額診療所」を開設して



高知医療生協潮江診療所
事務長 岡村啓佐さん

社会福祉法の定める無料低額診療所を県内で初めて昨年10月から実施している。

この間34件の相談があり24件を診療する中でいくつものことが分かってきた。

イ 失業すると数ヶ月で貧困となること。

ロ 国保の保険証をもっていても自己負担金の支払いがでず受診していなかった例が9件あったこと。

ハ 母子家庭の抱えている貧困の子どもへの影響の深刻さ、重症の8例のうち7例が男性であったこと

二 やはりのちを守る地域のネットワークが必要なのではないか。このようなことに応えていきたい。

参加者からは、「もっと市民サイドから地域医療について発言していきたい。」「えっころネットのようなボランティア活動を若い人が担っていて刺激を受けた。」のような意見が出されていました。

市長施政方針

(抜粋・要約)



今期定例会は、私にとりまして市長就任後初めての当初予算をご審議いただく議会ですので、新年度における市政運営の所信と予算の概要、および主な事業への取り組みについてご説明いたします。

いまの厳しい経済情勢のもとでは、市民生活に密着する基礎的自治体である市政の果たす役割として、「市民の生活や暮らしを守る」ということが強く求められています。そのため、保健・医療・福祉を始めとする市民生活に直結した課題に着実に対応し、安心・安全な市民生

活を守ることに視点を置きつつ、本市の主要産業である第一次産業の元気を取り戻し、山・川・海の豊かな幸と自然環境そして、歴史や伝統、文化といった個性的な地域資源を活かし、農・商・工の産業間の連携と観光資源としての融合を図りながら、自然と人との共生した地域振興を進めてまいります。

市長就任以来、私は、可能な限り現場へ足を運び、市政懇談会を始め市民の皆さまとの対話を進め、さまざまな課題を直視してまいりましたが、そうした中で、当面、本市が目指す方向性として、以下の四つが重要であると考えています。

対話と協調―協働のまちづくり

■市政懇談会

昨年十月から順次開催してきた市政懇談会は今月開催する中村地区で中村地域を一巡します。これまで十一地区で延べ三百五十名の市民の方にご参加いただき、日々の暮らしの中で感じている身近な課題や市政全般に対するご提言などに加え、こうした場でしかお聞きできないような貴重なご意見もいただきました。貴重なご意見、ご提言を可能な限り市政に活かすべく、二十二年度の予算編成にも努めたところで、「対話と協調」の市政実現に向け確かな一歩を踏み出したと思っております。四月からは西土佐地域を回ります。今後、より多くの方に気楽に参加いただけるよう開催地区の範囲などを工夫しながら継続します。

■広報誌の充実

「対話と協調」の市政を進めるための体制整備として、昨年十月、企画広報課

内に広報公聴係を独立させ、市政懇談会の事務局を務めるとともに、広報誌の充実にも取り組んでいます。広報誌は市民と市政をつなぐ架け橋です。毎号、市政の動向等を正確に伝えるとともに、市長のメッセージと行動日程も載せ、また市民が投稿により誌面に参加する「市民のひろば」のページもスタートさせました。

市のインターネットホームページにつきましても、多くの方にアクセスしてもらえよう、見やすく、読みやすくをモットーに改善を進めています。

■ふるさと応援団

「四万十市ふるさと応援寄付（ふるさと納税）」へのお礼と市のPRを兼ねて、新年度から一定額以上の寄付をいただいた方へ特産品をお送りするとともに「(仮称)ふるさと応援団」に登録していただくことを考えています。このほか県人会や高校同窓会、ウルトラマラソン参加者など四万十大好き人間が数多くおられると思いますので、団員登録を呼びかけ、広報誌などの送付を通じて、ふるさと四万十の情報を発信していくとともに、本市のPR活動にも一役買っていただくことを考えています。

■地域づくり支援職員

近年、地域から行政への要望内容は極めて深刻になってきており、すでに市内では区長の選出が困難となったため集落を統合して何とか区長を選出した地区や、民生委員さんの選出もままならなくなつた地区など、基本的な自治活動や地域福祉活動に支障をきたすような事態も出始めています。こうした事態に対して行政には、これまでのような「住民

の要望を待つ」という姿勢でなく、地域住民と一緒に考えているというスタンスが求められてきていることから、市職員の中から「地域づくり支援職員」を兼務発令で任命します。二十二年度は十数地区を対象に試行的に実施し、地域の拡大を図っていきたくと考えています。

■地域集落再生事業

地域づくり支援職員と同様の視点で、過疎・高齢化が特に著しい西土佐地域において、次の三つのことを取り組みます。

一、「若者の力の輸入、山の暮らしの輸出」として集落を大学生のフィールドワークの場として活用してもらい、集落の一斉清掃や地元の祭りなどに若い力を活用した交流事業を行う。高知大学等との連携を予定。

二、「山の暮らし耕しはじめ会」として、モデル集落を選定し、「二十年後の集落存続のために、今できることは何か」を考えてもらうもので、市職員も地域に積極的に入り、将来にわたって集落を維持できる仕組みを一年間かけて練り上げ、併せて集落の資質に合った産業の創出にも取り組む。

三、この問題を広く市民の皆さんに共通認識として持つていただくための講演会を開催します。講師としては「限界集落」提唱者である長野大学の野見教授を予定しています。

■分館活動の活性化

西土佐地域の公民館活動の中心を担ってきた分館活動は、高齢化や若者の地域外への流失により中心となる活動家が減少し全体的に低迷傾向にあります。このため、分館活動の活性化を図り、協

働の地域づくりを推進することを目的として「分館活動活性化事業」を創設します。自分たちの地域づくりに積極的に取り組む分館活動の提案を受け、必要な助成を行うものです。

産業振興―活力あるまちづくり

■農業振興

水田農家を対象とした戸別所得補償モデル対策が四月からスタートします。広報等でお知らせや事業説明会を始めたところですが、水田農家への周知を徹底し、円滑な事業の推進に努めます。

中山間直接支払制度は、新年度から第三期対策に入りますが、次期対策では、高齢農家の多い集落においても引き続き取り組むことができるように要件が一部緩和され、さらに協定集落が二カ所増える予定。四年目に入る農地・水・環境保全向上対策と併せて農地保全のための共同活動を支えていきます。さらに集落営農への取り組み支援として、六組織に対して乾燥機、田植機、コンバイン、農機具格納庫などの共同利用の施設整備や農作業機械の導入支援を行います。

新規就農者については、四万十農園と西土佐農業公社で十一名のほか、実践農家での研修を通じて二名の農業後継者を育成。有機農業に取り組む農家への有機農業等総合支援事業も継続します。

■農・商・工の連携

四万十市の新たな特産品となりうる可能性が高い五件の提案を第一弾として商品化を進めます。既に提案者と専門家や関係機関などからなる検討チームを立ち上げ、商品開発や営業活動に着手

したものがありません。アドバイザー派遣やマーケット調査、試作品開発や試験販売に係る経費などに対して、四万十市の新たな特産品・ブランド品開発につながるよう、ソフト・ハードの両面から迅速かつ可能な限りの支援を行っていきます。

■林業振興

引き続き市有林をモデルに作業道を開設しながら間伐材を搬出することで、森林整備を行います。「森の工場」は既に九団地で施業し、こうした取り組みで約四十五名の雇用が生まれていますので、育成してきた林業事業者のさらなる技術の向上と林業機械の整備を支援することで、コストの低減と作業の効率化を図ります。

また、次の段階として地元での製材をはじめとする木材の高付加価値化を目指します。その第一歩として進めている「地域産木材住宅普及推進事業」は、来年度にモデルハウスが完成します。度、ブランド力の向上と地元産材の積極的な活用に向けたPRに努めるとともに、森林組合、製材業者、木材関連市場、建築関連業者の方々と一緒に木材の地産地消の仕組みづくりを進め、個人住宅だけでなく、住宅リフォーム、公共建築物などの木造化や木質化においても幅広く地元産材の活用を進めてまいります。

■内水面漁業振興

五月から市役所に藻類専門の研究員を一年間常駐させ、四万十川でのアオノリの生態調査や研究をさらに進めるとともに、鍋島地区に続き下田地区でも養殖実験を開始する予定です。また、高知大学との連携事業も二十二年度で三年

目となりますので、ノリ養殖の事業化、有効成分を活用した産業振興の可能性について漁協および関係機関とも協議し、高知大学と共同で「四万十川スズアオノリ振興計画」を取りまとめます。

広見川の濁水対策は、昨年十月、県内市長会が本市からの提案を受け、高知県知事に対して現状の改善を強く要望しました。今月には西土佐商工会の呼び掛けで、西土佐地域に「広見川濁水対策協議会」が設置される予定です。



三里で行われた四万十市観光開き

■観光振興

県は二十一年度を高知県産業振興計画の実行元年とし、観光分野の成長戦略では、滞在型・体験型観光の推進を掲げ、観光八策を推進しています。当市も県と歩調を合わせながら、幡多広域観光協議会、観光協会、二カ所の観光施設にそれ

ぞれ二名の職員を新たに雇用し、観光プログラム企画、開発を通じて積極的な誘客活動を行います。新年度は、新たに幡多広域観光協議会を一般社団法人化し、幡多地域での体験交流型観光受入の核となるべく組織強化を行います。

■中心市街地活性化

商振連女性部では、毎月二十二日を「玉姫様の日」として、商店街の活性化に向け、積極的な活動をしています。新年度は、これまでの事業の拡大に加え、「玉姫様の化粧品」などの新規商品やグッズ等を開発、販売するなど、さらなる取り組みが計画されていますので、市としても女性部に対する補助金を増額し、「玉姫様の日」普及推進活動への支援を強化します。

また、なかの空き店舗対策では、これまでホームページでの空き店舗情報の発信や空き店舗を活用した写真展の開催などを行ってきましたが、来年度は商振連の協力や中村商工会議所などの支援を得ながら、新たに店舗改装費への助成を行い、意欲のある創業希望者等の出店を誘導します。

■雇用対策

短期間の雇用と就業機会を創出する緊急雇用創出臨時特例基金事業を七事業から二十四事業へ大幅に拡大し、新規の失業者を延べ八十八人雇用する予定です。また、継続的な雇用機会の創出を図るふるさと雇用再生特別基金事業では、八事業を計画しており、失業者二十人が二十三年度の事業終了後も引き続き雇用される予定です。これらにより、産業振興と地域経済の活性化に向けた効果も期待できます。

保健・医療・福祉

「いのちを守り育むまちづくり

■保健・医療・福祉の連携

以下の三つの連携を強め、市民が安心して暮らせる地域づくりを推進します。

一、行政の連携。個別に行われがちな保健・医療・福祉にかかわる行政の連携を強め、手薄となっている精神保健や口腔ケア等の連携事業を展開していきます。

二、住民間の連携。地域にどのような保健や福祉の組織があれば望ましいかについて検討を行います。既に地域には保健推進委員会、地区社会福祉協議会、ふれあい談話室、老人クラブ連合会がありますので、これら各組織の代表の皆さんにも参加いただきます。

三、関係機関の連携。医療や福祉のサービスを担う医療機関同士や福祉介護事業所との連携、それらの施設を利用する市民との連携を図っていききたい。また、このことと関係して「どのような市民病院としていくのか」ということが医師確保を進める際の重要な前提条件となっていますので、市民病院医師団と幡多けんみん病院、民間医療機関をはじめとする関係者の皆さんの考え方なども調整しつつ、方向付けを行っていきます。

■総合福祉計画

関係各法に基づき、二十年度から「地域福祉計画」、「障害福祉計画」、「次世代育成支援行動計画」の策定を進め、二十一年度からは「健康増進計画」を加えた四計画の策定を行うこととし、これら総称して「四万十市総合福祉計画」としていきます。すでに策定済みの「障害福祉計画」以外の三計画について年度内の完成を

目指します。

■高齢者福祉

三年間を計画期間とする「高齢者福祉計画・第四期介護保険事業計画」の中間の年度である二十二年度は、地域における介護予防や支え合い活動を強化することを目標に掲げ、「ふれあい談話室」の拡大や地域への活動支援、連携、協働により地域で主体的に行う高齢者福祉の基盤づくりに取り組みます。

■国民健康保険・後期高齢者医療制度

後期高齢者医療制度は、制度開始以降、保険料軽減策などさまざまな見直しが行われ、負担の軽減とともに保険料の納付についても一定理解が進んでいるものと考えています。保険料については、二年ごとに見直しをすることとされており、現在、広域連合において二十一、二十三年度の保険料率の算定作業が進められているところですが、何ら抑制策を講じない場合の高知県の保険料の伸び率は約十三・五％と試算される中、可能な限り増加を抑制することとしています。

■少子化対策と子育て支援

乳幼児医療費の自己負担分に対する助成について、昨年十月から対象児童を三歳児未満から五歳児未満までに拡大し無料としましたが、新年度からはさらに就学前児童まで拡大します。

また、子どもが欲しくてもなかなか妊娠できない夫婦の不妊治療に対する経済的負担を軽減するため、治療費の自己負担額に対する一部助成を始めます。保険適用外である「体外受精・顕微授精」の特定不妊治療については、既に県が一部

助成を行っていますので、市としては保険適用の「一般不妊治療」と保険適用外である「人工授精」について市単独で自己負担額の一部助成を行います。

■市民病院

本年度の現段階での収支は約百万円の赤字見込みです。地元医師会や国立高知病院の協力により非常勤医師を派遣していたことで診療体制を維持するとともに、院長を始め職員が一丸となって経営改善に努力した結果、一定の収支の改善が図られています。泌尿器科は二月十八日から医師が毎週一回非常勤で来ていただけのこととなり、約二年ぶりに再開することができました。

また、新しいMRI（磁気共鳴断層撮影装置）も二月から稼働しています。画像が鮮明、検査の際の音も静かで、検査時間も大幅に短縮できます。四月からは脳神経外科の常勤医師が二名になりまので、さらに高度な医療サービスが提供できるものと期待しています。

新年度からは常勤医師は一名増え七名体制となります。また、引き続き非常勤医師の派遣協力をいたたく予定で、それらを考慮したうえで収支見込みでは資金不足が生じることはないため、病院施設の耐震診断費用を除き一般会計からの繰入は不要と判断しました。

「市民病院改革プラン」は、年度内の見直しに向け、現在詰め作業を進めています。その中で、「市民病院の果たすべき役割」を、幡多けんみん病院や地域の医療機関と連携しながら、市民に対し良質な安定した医療を提供することとし、具體的には、一、午後十時までの救急医療継続により幡多けんみん病院の二十四

時間救急医療体制の下支えを行う、二、市内で唯一緊急手術を行える急性期病院、三、糖尿病に関する診療機能の充実を図る、四、大規模な災害が発生した場合の医療救援活動の拠点病院、などと位置付けています。

また、「一般会計が負担すべき経費負担の考え方」については、総務省が示す繰出し基準に基づく経費を原則としませんが、繰出し基準に該当しなくても、市民病院が公立病院として果たすべき役割として実施しているものに要する経費や最大限効率的な病院経営をしてもなお不足する真にやむを得ない額については、その適正額を算定して一般会計から繰入するものとしています。

■学校再編

西土佐地域の学校再編地元懇談会を昨年の八月から十月にかけて実施し、地域の皆さまからいただいたご意見を基に学校再編に係る実施計画案を定め、議会ならびに地域にご報告いたしました。この計画案を持って、一月から再度地域懇談会を行い、意見を集約させていただきました。懇談会を行ったところ、「地域が寂れる」、「小規模校の良さ」など存続を求める声がありました。一方、少子化に伴う子ども減少が著しい状況から「再編やむなし」という意見も多く出ました。これらを踏まえ、より良い学習環境の確保と整備を基本に、魅力と活力のある学校づくりに向け、早急に教育委員会で協議し結論を見い出したいと考えています。

■学校教育施設の整備

小中学校の耐震化について、具同小学校ほか五校の校舎について耐震二次診

断を行います。中村小学校校舎については、改築が必要であることが確認されましたので、二十三年度からの工事着手に向けて施設全体の基本設計と校舎の実設計を行います。

■津野川住宅建設

若者向けの住宅を建設し、併せて中村高校西土佐分校支援の一環として、当分校の寄宿舎として利用します。

環境・基盤整備

—安心・安全なまちづくり

■水道の整備

震災対策として久山(ひさやま)配水池に緊急遮断弁を設置する計画です。また、引き続き鶴ノ江、上久保川地区を中心とした簡易水道の新設と西部統合簡易水道における中筋川右岸地区の配水管整備、大宮統合簡易水道の整備を進めます。

奥片魚地区では地域が主体となった水道施設の整備が計画されていますので、県の中山間地域生活支援事業の活用と併わせ市も支援します。

■ごみ減量化対策・環境問題

- 次の四つの新規事業をスタートします。
- 一、無料で収集する家庭ごみの種類を十九品目に増やす取り組み
 - 二、剪定木堆肥化事業
 - 三、不法投棄監視パトロール事業
 - 四、福祉ごみ減量チャレンジ事業
- また、地球温暖化防止対策として、太

陽光発電システムの設置費用については国の補助制度に加え、市独自に新たな補助制度をつくりました。

■快適環境整備

例年、要望も多く、市政懇談会などでもグラウンドゴルフ場等の補修などの新たな要望もありました。そのため、可能な限り要望にお応えするため、予算を増額しました。集会所の新築・改修十件、道路補修五件などを実施する予定です。

■河川・港湾・海岸の整備

下田港の改修事業は新航路の防波堤整備、高潮対策としての養浜(砂浜)や離岸堤の整備が引き続き進められます。

河口の砂州は近年、減退と回復の遅れにより、低気圧の波浪程度でも押し流され、航路が埋塞する事態が生じています。地区住民の生活や経済活動に大きな支障をきたしているとともに、汽水域環境への影響が懸念され、アオノリや貴重生物の生息環境が変異することを危惧しています。砂州の早期復元に向け緊急の対策を講じるほか、安定した堆砂量を確保する恒久的な対策が急がれます。関係機関に強力に要望してまいります。

■地域公共交通

土佐くろしお鉄道中村・宿毛線と各市町村間を連絡する幹線バス路線については、高知西南地域公共交通協議会で総合連携計画を策定し、学生運賃割引などの実証実験、中村駅舎の改修などの利用



開業以来40年ぶりにリニューアルされた中村駅

環境整備、サポーターズクラブ会員募集などの意識啓発といった具体策を二十一年度から実施しています。来年度も、実証結果による見直しなどを行いながら継続的に取り組みます。

市内のバス路線についても、現在、四十万十地域公共交通活性化協議会において総合連携計画策定の最終段階です。高齢者などにやさしく将来にわたり安心して利用できる公共交通体系の再編に向け、二十二年度から新たなデマンド交通の導入などを進める予定です。

■防災対策

自主防災組織にはこれまで防災訓練や防災学習会など、ソフト面への支援を重点的に行ってきましたが、自己資金がない組織にとっては、資機材の維持管理

費の確保が課題となっています。市政懇談会でも、そうした意見が多く出ていますので、設立後一定期間を経た自主防災組織を対象に、消火剤の充填費用や最低限必要な消耗品費に対して、新年度から新たに市単独の助成制度を設けました。

■地域情報基盤の整備

西土佐、大川筋、富山の三地域へのケーブルテレビの整備は、引込工事を市内業者へ発注するなど、地元企業の育成に配慮しながら順調に工事を進めています。西土佐地域全域ではこの春から、大川筋地区、富山地区では二十三年春のサービス開始を予定。この他、中筋地区、東中筋地区の一部、古津賀第二団地、雅ヶ丘団地への光ファイバー網の整備も計画しており、二十三年春までにはサービスを開始する予定。八束地区に誘致を進めていたADSLサービスも、この四月から随時利用可能となる見込みで、これで本市の大部分の地域で高速インターネットが利用できる環境が整います。

■消費者生活センターの設置

国では消費者庁の発足と併せ、消費生活相談等を地方公共団体の事務として明確化するとともに、消費生活センターを法的に位置付け、相談窓口強化等に取り込む団体を集中的に支援する仕組みが確立されました。これを受け、県と幡多六カ市町村で意見集約を図り、専門相談員を置いた県内で三番目の「(仮称)四万十市消費生活センター」を設置します。

平成22年度当初予算 総額306億円

～生活重視 大型事業一段落～

概要

平成22年度の当初予算は、市政懇談会などでの市民の皆様の声を活かしながら、「市民の生活と健康を守る」ため、可能な限り積極的な予算編成に努めました。

予算規模は、一般会計で192億3,400万円、特別会計15会計で101億5,036万円、企業会計(2会計)で28億7,319万円、各会計間の重複を控除した総額で306億6,166万円となりました。

一般会計は前年度比5・8%の減となっておりですが、前年度にピークを迎えた新庁舎建設などの大型事業を除くと前年度比5・8%の増となっています。

性質別歳出では、普通建設事業が大幅に減少しているのに対して、子ども手当の創設や生活保護費の増加などにより扶助費、緊急雇用創出特例基金事業などによる賃金や委託料の増加により物件費が大幅に増加しています。

また、合併により四十万十市となつてから初めて、財政調整基金などの財政調整的基金を取崩すことなく予算を編成することができました。

問い合わせ先
(本庁) 財政課 ☎(34) 61200

重点事業

対話と協調―協働のまちづくり

広報公聴事業 761万5千円

広報発行、市ホームページ更新ほか

ふるさと応援団推進 50万円

ふるさと応援団員募集活動

地域集落再生事業 98万7千円

集落と若者の交流事業

公民館分館育成補助金 214万1千円

分館活動活性化事業分を新設

協働の森づくり 176万1千円

森林再生、地域との交流促進

産業振興―活力あるまちづくり

農工商等連携事業 500万円

特産品開発支援

地域産木材住宅普及推進事業 3,112万7千円

地域産木材モデル住宅建設

内水面漁業振興対策事業 1,792万2千円

アオノリ陸上養殖実験、アオノリ有効成分研究、炭を使った河川浄化実験ほか

商店街にぎわい再生推進 112万5千円

空き店舗対策

予算内訳

区分	平成22年度予算額	伸率(%)
一般会計	192億3,400万円	△ 5.8
特別会計(15会計)	101億5,036万円	△ 1.1
国民健康保険事業勘定	41億1,645万円	△ 4.0
国民健康保険診療施設勘定	4億1,529万円	5.3
奥屋内へき地出張診療所	992万円	△ 34.5
老人保健	165万円	△ 86.3
後期高齢者医療	4億3,498万円	4.9
下水道事業	9億2,201万円	△ 8.4
と畜場	2億6,769万円	△ 0.1
幡多公設地方卸売市場事業	1,122万円	299.5
住宅新築資金等貸付事業	228万円	△ 47.9
鉄道経営助成基金	2億1,334万円	△ 31.9
農業集落排水事業	5,893万円	△ 1.6
幡多中央介護認定審査会	625万円	△ 0.5
介護保険保険事業勘定	31億8,223万円	6.4
園芸作物価格安定事業	2,810万円	0.0
簡易水道事業	4億8,002万円	4.5
企業会計(2会計)	28億7,319万円	△ 1.6
水道事業	6億6,200万円	△ 7.1
病院事業	22億1,119万円	0.1
合計(各会計間の重複額除く)	306億6,166万円	△ 4.1

観光用公衆トイレ整備事業(勝間)

1,645万円

商店街等活性化事業補助金

100万円

商振連女性部活動助成分を増額

保健・医療・福祉―いのちを守り育むまちづくり

保健・医療・福祉連携事業

476万3千円

市民のいのち・健康を守る取組

乳幼児医療費

5,085万1千円

就学前までの医療費を完全無料化

認知症地域支援体制構築等推進事業

121万1千円

不妊治療費助成事業

138万円

一般不妊治療・人工受精費用助成

病院事業会計負担金

1,522万9千円

市民病院耐震補強事業分

シルバー人材センター運営費補助金

450万円

法人化支援ため増額

身体障害者連盟補助金

37万9千円

運営支援のため増額

放課後児童クラブ・放課後子ども教室運営

3,400万1千円

地域子育て創生事業

2,000万円

津野川住宅建設

9,480万5千円

環境・基盤整備—安心・安全なまちづくり

快適環境整備事業

農林道・生活道整備、街灯整備、集会所新設・修繕ほか

3,166万2千円

消費者行政活性化基金事業

1,116万5千円

自主防災組織維持活動支援を新設

705万円

住宅用太陽光発電システム設置整備補助金

180万円

中山間地域生活支援

5,700万円

緊急雇用創出臨時特例基金事業

1億122万7千円

ふるさと雇用再生特別基金事業

8事業 8,528万3千円

新規の失業者のべ20人雇用

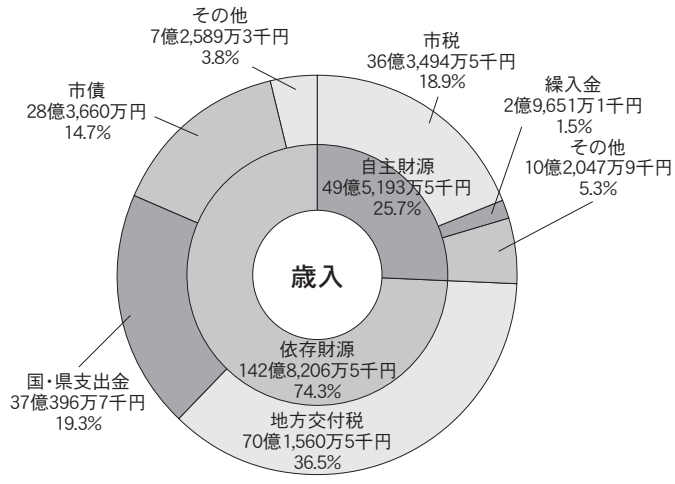
市政

教育

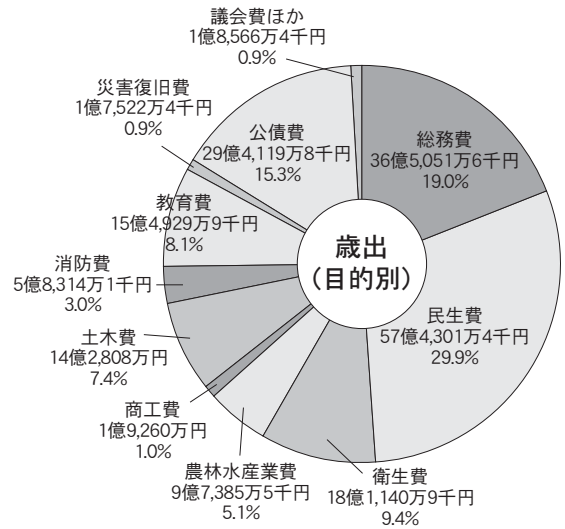
くらし

情報掲示板

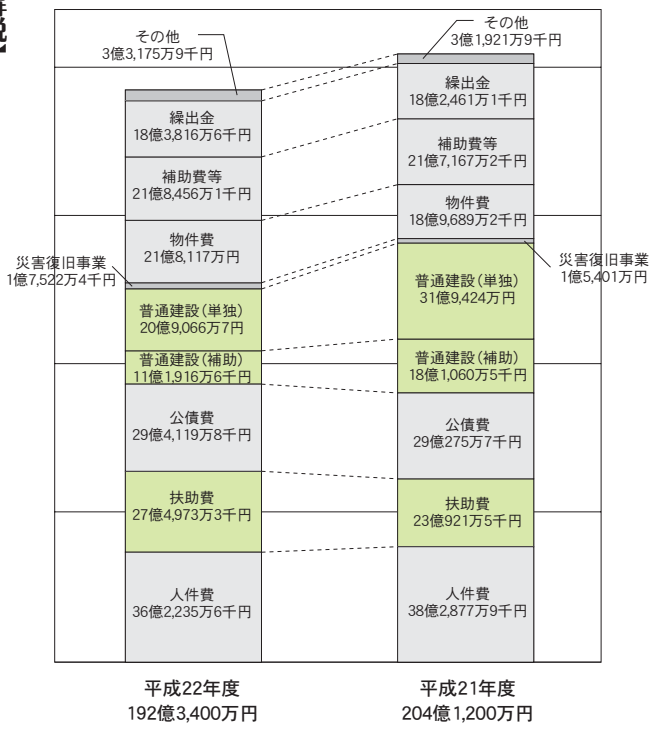
【一般会計歳入予算】



【一般会計歳出予算（目的別）】



【一般会計歳出予算（性質別）】



【用語解説】

自主財源：地方公共団体が自主的に収入できる財源

依存財源：国(県)の意思により割り当てられ、交付される財源

線入金：基金の取崩しや特別会計からの収入

地方交付税：地方財政の均衡化と財源の確保を保障するため、一定の基準により国から交付されるもの

市債：道路整備や施設の建設事業等を行うための借入金

扶助費：生活保護費、障害者自立支援費、乳幼児医療費など各種扶助に要する経費

公債費：市債の元利償還等に要する経費

普通建設事業：道路、橋梁、公園、学校の建設等社会資本の整備に要する経費

物件費：人件費、扶助費、補助費等以外の消費的性質の経費で、旅費、光熱水費、委託料など

補助費等：各種団体に対する補助金及び負担金のほか、部事務組合や企業会計への負担金など

線出金：国民健康保険、介護保険、下水道など特別会計へ、事務費や建設費などの補助のため支出する経費

市有財産の売却

(旧古津賀東保育所跡地)

市有財産の売却に伴う一般競争入札を実施します。

入札物件	
古津賀字澤口2932番48(宅地)	284.95㎡
古津賀字澤	2947番7(宅地)
合計	1202.03㎡ 1486.98㎡

※建ぺい率60%、容積率200%
住宅分譲用地として売却

入札日時および場所

日時 5月28日(金)14時から
場所 不破出来島2058番地20
四万十市防災センター
2階大会議室

最低入札価格

金24,700,000円

入札参加資格の審査申請等

当該入札に参加しようとする者は、4月28日までに市長に一般競争入札参加資格審査申請書、その他必要書類を提出し、入札参加資格の有無について審査を受けなければなりません。
審査の結果は入札参加資格の有無を書面により平成22年5月7日までに通知します。
申請書の受付
受付期間 4月12日から4月28日
(開庁日は除く)

受付場所 四万十市役所 図書館3階

財政課 管財契約係

提出方法

持参、または郵送

(期間内必着)

その他

申請書類は財政課管財契約係にて配布します。

また、市ホームページ「四万十市からのお知らせ」よりダウンロードもできます。

問

(本庁) 財政課 管財契約係

☎(34)6120

平成22年

春の交通安全運動

一人ひとりが交通安全に対する意識を高め、交通ルールを守り、交通マナーの向上に努めるとともに、安全で安心な人にやさしい交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故を防止することを目的に春の交通安全運動を実施します。

★実施期間

4月6日(火)～4月15日(木)

交通事故死ゼロを目指す日

4月10日(土)

★運動の基本事項

- ・子どもと高齢者の交通事故防止
- ・子どもと高齢者の方が道路を横断するときには、左右の安全をよく確かめ、道路中央で今一度、左側の安全を確認しましょう。
- ・【高齢運転者の方は】加齢とともに身体機能が低下していることを自

覚して、より慎重な運転を心がけましょう。

- ・【その他の運転者の方は】子どもや高齢者のそばを通行するときは、徐行するなど、思いやりのある運転をしましょう。

★重点目標

- 1 すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 2 自転車の安全利用の推進
- 3 飲酒運転の根絶

問

(本庁) 市民課 市民係

☎(34)1113
☎(52)1111

公共下水道事業

平成22年度

供用開始区域のお知らせ

皆さまのご協力をいただき下水道区域拡張工事が左記の区域で完成しました。本年四月一日から下水道を利用できますので、お知らせします。

供用開始区域

今回新たに下水道を利用できる事となつた供用開始区域は、次の地区の一部です。

★右山字明治(一部)

区域の詳細については、都市整備課において縦覧できます。

問

(仮庁舎) 都市整備課 下水道係

☎(34)6129

農地の所有権移転など

申請締切日と定例会

農地法第3条許可申請など各種申請の締切日と農業委員会定例会開催予定日をお知らせします。

定例会は傍聴できますが、会場については未定であるため傍聴を希望する人は事前に事務局へお問い合わせください。

申請締切日	定例会開催予定日 開催日時	開催場所
4月20日(火)	5月6日(木)午後2時～	中 村
5月20日(木)	6月7日(月)午後2時～	西土佐
6月21日(月)	7月7日(水)午後2時～	中 村
7月20日(火)	8月5日(木)午後2時～	中 村
8月20日(金)	9月7日(火)午後2時～	中 村
9月21日(火)	10月6日(水)午後2時～	西土佐
10月20日(水)	11月5日(金)午後2時～	中 村
11月15日(月)	11月29日(月)午後2時～	中 村
12月20日(月)	1月6日(木)午後2時～	中 村
1月20日(木)	2月7日(月)午後2時～	西土佐
2月21日(月)	3月7日(月)午後2時～	中 村
3月22日(火)		

問

農業委員会事務局

☎(34)1521



おめでとう

四万十市スポーツ賞受賞者の皆さんです

今年、優秀賞の個人8人、団体8団体、特別賞の個人2人が受賞されました。

3月7日(日)表彰式が行われ、四万十市体育協会から受賞者に賞状と副賞が贈られました。

受賞者を代表して、第62回四国高等学校陸上競技対抗選手権女子総合第3位など輝かしい成績を残した中村高校陸上競技部(女子)の中島里菜主将(下の写真)から、これから指導者を目指していくという将来の決意と関係者へのお礼など、心をこめた謝辞がありました。

皆さんおめでとうございます。これからも頑張ってください。

【優秀賞:個人】

氏名	所属	学年	種目
こいで しょうた 小出 亮太	市立川崎小学校	2年生	陸上
ほそぎ ななえ 細木 菜々恵	県立中村中学校	2年生	陸上
いけもと あい 池本 愛	県立中村中学校	3年生	陸上
はまだ たいき 濱田 大輝	市立下田中学校	3年生	陸上
そがべ れいち 曾我部 麗市	市立中村中学校	3年生	陸上
ほそぎ きえ 細木 葵絵	県立中村高等学校	1年生	陸上
まつおか なな 松岡 奈那	県立中村高等学校	2年生	陸上
はたなか ゆうき 畑中 勇輝	県立中村高等学校	2年生	陸上

【優秀賞:団体】

団体名	人数
中村ジュニア バレーボールクラブ	12人
中村スポーツ少年団 (少年野球)	14人
市立東中筋中学校 女子ソフトテニス部	7人
市立東中筋中学校 男子ソフトテニス部	9人
市立中村中学校 バレーボール部	19人
市立中村中学校 バスケットボール部	15人
県立中村中学校 駅伝部(女子)	8人
県立中村高等学校 陸上競技部(女子)	27人



【特別賞:個人】

氏名	所属	学年	種目
なかの あいみ 中野 愛美	学校法人就実学園 就実中学校	3年生	ソフトテニス
うじはら けんすけ 氏原 健介	上武大学	1年生	陸上

家屋全棟調査を行います

四万十市では、平成22年度に固定資産税の課税対象となる建物を対象に家屋全棟調査を実施します。皆さんのご協力をお願いします。

●家屋全棟調査とは

市内にあるすべての家屋について、家屋課税台帳に登録してある所在・種類・構造・床面積などと比較し、増築や未調査による課税漏れ、または、取り壊しなどがないかを確認するもので、既に課税されている家屋との公平を図り、公正で適正な課税を目指して行うものです。

【調査時期など】

平成22年5月から平成23年3月末にかけて市内全域を調査します。

【調査方法】

○調査員は腕章・名札を付け、2人1組で調査にお伺いします。
○調査員は家屋課税台帳と実際の家屋を照らし合わせながら、建物の現況を外観で確認します。
(調査の際、敷地内に入ることはありませんが、家屋内部には立ち入りません)
○所有者が不在の場合も調査させていただきますので、ご了承ください。
○所有者の確認などのためお尋ねした場合には、ご協力をお願いいたします。

○課税が漏れている家屋や取り壊しなどが確認された場合は、ご連絡のうえ再度職員が調査にお伺いします。
○調査の進捗よく状況は広報などで定期的にお知らせいたします。

【課税・還付】

調査により、増築や未調査による課税漏れ、または、取り壊しなどが判明した場合は、その分の固定資産税を速やかに更正します。その場合は、原則として最高5年分までさかのぼって課税・還付をします。

問い合わせ先

(本庁) 税務課 資産税係 ☎(35)4428
(総合支所) 総務課 税務係 ☎(52)1111

まちの話題

昔ながらの こんにやく作り体験

2/27(土)

西土佐江川の権谷地区にある権谷せせらぎ交流館で、権谷郷主催の昔ながらのこんにやく作り体験がありました。



こうやってまるめるがよ

地元の安藤愛子さんと高橋鈴子さん両名の手本を見ながら挑戦。初めて体験する参加者が多く、いもの混ぜ方や形の整え方などのコツを教わりながら作りました。参加者は昔から引き継がれてきたコツと名人の手さばぎに感心していました。

こんにやくの凝固剤として昔ながらの木の灰汁を入れたものと、現在使用されている炭酸ナトリウムを入れたもの2種類を作り食べ比べました。どちらも大変おいしく木の灰汁の方が少し柔らかい食感がしました。権谷郷ではこの他にわら細工、竹細工、祭り体験など山里の生活文化の体験ができます。

問い合わせ先

教育委員会西土佐事務所

☎0880(52)1110

四万十川の 景観を考える

3/7(日)

西土佐口屋内の多目的集会施設で、奈良文化財研究所から恵谷浩子さんを講師に招き、地元の文化的景観についての講演会が開かれました。演題は「四万十川と黒尊・口屋内」。

文化的景観とは、自然の中でそこの人々の暮らしがどのように続いてきたかを考えるもので、黒尊・口屋内地域は四万十川の渡し場の跡、沈下橋、舟着き場、森林軌道跡など昔の生活文化の景観が多く存在する貴重な景観であるという説明を受けました。

その後、口屋内沈下橋周辺に行き、実際に景観の成り立ちを確認しました。参加された方は、地域の中で気づきにくい四万十川周辺の景観の重要性を発見し、地域の人々の営みによって何を引き継いで、どのような地域景観を作り上げてゆくのかを考える良い機会となりました。



四万十つるの里祭り

東中筋中学校で「第1回四万十つるの里祭り」が開かれました。

この祭りは、中筋川流域がツルの越冬地であることを皆さんに知ってもらい、つるの里づくりの取り組みを紹介しようと「四万十つるの里づくりの会」が開いたもの。

当日はセミナーやもち投げ、コンサートなどさまざまなイベントが行われたたくさんの人でにぎわいました。中筋川流域は全国的にも希少なツルの越冬地です。みんなでこの「つるの里」を守っていきましょう。



「コウノトリ育む農法」セミナー

2/27(土)

四万十川水泳マラソン大会が 第2回地域・スポーツ振興賞の優秀賞に！

財団法人四万十市体育協会が毎年開いている「四万十川水泳マラソン大会」が、「第2回地域・スポーツ振興賞」の優秀賞(会長賞)に選ばれました。同賞はスポーツを通じて地域振興に貢献している活動に対して、社団法人スポーツ健康産業団体連合会から贈られるもので、本年度は応募総数二十二件の中から最優秀賞一点、優秀賞二点、佳作四点が選考されました。

四万十川水泳マラソン大会は、参加者の方々に自然保護の大切さを実感していただくとともに、市勢の活性化を図ろうと、当協会の加盟団体を中心として、市職員や一般市民の方々を含む総勢200余人のボランティアにご協力をいただきながら毎年開催しています。平成21年の第16回大会では、北海道から沖縄まで全国各地から421人の参加があり、リピーターが多いのも特徴です。

毎回、参加料の一部を四万十川清流保全基金に寄付していただいております。今回の優秀賞副賞の一部も寄付していただくなど四万十川の保全に大きく貢献しています。

選考委員からは、「地域シンボルとして、清流四万十川の保全を、全国からの参加者による水泳大会を通じてアピールする試みがユニーク。地域資源を活用したイベントで、地元へのインパクトは大きい。」と評価されました。



第16回大会5kmコースのスタート地点

3/3(水)

市教委だより

25日(木)川崎小学校
26日(金)西土佐中学校
27日(土)ふれあいホール

ピアノデュオ 学校訪問&コンサート

2人でピアノを弾く「連弾」を得意とするピアノデュオの「デュエットウ」(大嶋ゆかりさん・木内かなえさん)の2人が川崎小と西土佐中の2校を訪れミニコンサートを行いました。



間近でピアノの魅力を感じました

ミニコンサートでは、間近で見るプロのピアノニストの指使いや2人で弾いているとは思えない息のあった演奏に子どもたちは大喜びでした。また、2人は演奏だけでなく、2人でピアノを弾くようになっただきっかけの話から、友だちの大切さや夢をあきらめずにがんばる事の大切さを子どもたちに楽しく語ってくれました。ミニコンサートの最後には2人が西土佐に来てその風景等から感じたイメージから作られた新曲の披露も行われ、子どもたちはそれぞれが曲を聴いて浮かんだタイトル案を考えられました。

25(木) ~ 27(土)

具同小学校

アシモと学ぼう! 地球環境教室

1月29日(金)、2本足で歩くロボット「アシモ」が具同小学校に来てくれました。1・2年生が2校時に、3・4年生が4校時に、そして5・6年生が5校時と全校で環境についてアシモといっしょに学習をしました。みんな「アシモー!」と大きな声で呼ぶと、なめらかでかわいらしい動きで登場してくれました。声もとてもきれいでした。学習の始まりから大興奮です。

「1年間に日本に出るゴミの量は、東京ドーム何杯分でしょう?」「私たちが1日に吸う空気は、ペットボトル何本分でしょう?」などの環境問題に挑戦しました。クイズの途中で走ったり、ボールをけったり、フラダンスをしたりするアシモの姿にみんなびっくり!!思わず拍手が…。次に、グループで「みんなができるエコなこと、地球に優しいこと」について考えました。「水を出しっぱなしにしない。電気やテレビをつけっぱなしにしない。コンセントを抜いて節約する。なるべく歩かか自転車を使う。…」などの意見が出ました。アシモと学習した1時間は驚きの連続でした。具同小学校では四万十川にかかわって環境について学習を続けていますが、「環境・エコ」について考える貴重な経験となりました。



環境問題に挑戦!!

29(火)

西土佐地区 運動場

高知ファイティング ドッグス野球教室

2010年四国アイランドリーグ王者の高知ファイティングドッグス(高知FD)の皆さんが、西土佐で野球教室を開催してくれました。

野球教室には、西土佐地域内の小学生24人が参加をし、高知FDの定岡監督と5人の選手(山中投手・流内投手・西本内野手・青木外野手・安田外野手)から、キャッチボールなど基本的なことを教えてもらった後はポジション別に別れて指導していただきました。



みんな一緒にはい、チーズ!

参加した子どもたちは選手の皆さんの言葉を熱心に聞きながら、楽しそうに指導を受けていました。野球教室のあとには、見学に来ていた保護者の方を対象にもお話をさせていただきました。自身も兄弟も息子さんもプロ野球選手という定岡監督からは、「プロ野球選手になりたい小学生にとって一番大切なのは野球の練習ではなく、何でもたくさん食べてよく寝て丈夫な身体を作ること」とアドバイスが送られました。最後は選手の方々と一緒にゲームをしたりサインをしてもらったりして、野球小僧たちにとっては忘れられない一日になりました。

20(土)

市教委だより

(市)教育委員会 ☎(34)5445 FAX(34)4271 E-mail: school@city.shimanto.lg.jp
西土佐事務所 ☎(52)1110 FAX(52)1446 E-mail: n-school@city.shimanto.lg.jp

ご質問・ご意見をお寄せください



4月から各種がん検診や健康診査が始まります

新年度の各種がん検診や、特定健康診査(生活習慣病健診)などを順次実施します。自分の健康を確認するため、積極的に受診しましょう。

◎各種がん検診(肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、乳がん検診)

・集団検診により実施します。(女性特有のがん検診事業を除く)

・がん検診ごとに対象者の性別や年齢等が異なります。

・事前に申し込みのあった人に対して、地区ごとに集団検診の実施時期にあわせて、おおむね2週間前に検診料金を表示した受診票を個人通知します。

※市では、各種がん検診の受診率向上にむけて取り組んでいます。今後検診日程により受診可能ながん検診については、随時申し込みを受け付けします。(やむを得ない事情などがある場合は、電話での申し込みもできません。)

◎特定健康診査(生活習慣病健診)

・市では、4月1日以降継続して国保に加入している40歳から74歳までの人を対象に、集団健診および個別健診(医療機関での受診)により特定健診を実施します。

・対象者には、地区ごとに集団健診の実施時期にあわせて、おおむね2週間前に健診料金を表示した受診券を個人通知します。(申し込み不要)

・集団健診の日程以前に個別健診で受診を希望される人は、下記まで連絡してください。(個別健診では、予約により医療機関の診療日・診療時間内に受診できます)

・特定健診の受診結果により、生活習慣の改善が必要な人については、保健師・管理栄養士などが無料で生活習慣の改善を支援します。(特定保健指導)

※平成21年度の特健保健指導により生活習慣の改善に取り組んだ人は80名と前年度より20名増加し、多くの人に腹囲や体重の減少や、運動習慣、食生活習慣の改善がみられています。生活習慣の改善が必要かどうかチェックするためにも、まずは特定健診を積極的に受診してください。

◇検診(健診)などの日程(事業予定計画)につきましては、月ごとに掲載している市広報の保健カレンダーや、今月号の市広報と同時配布する保健衛生事業計画表をご覧ください。

問い合わせ先 (本庁)保健介護課 ☎(34)1115 (総合支所)保健課 ☎(52)1132

スポーツ吹矢教室

スポーツ吹矢は、運動効果だけではなく、精神集中や血行促進、細胞の活性化にも役立ち、内臓の諸器官にもよい影響を与えます。ゲーム感覚で楽しみながら、健康アップできるのが「スポーツ吹矢」です。

講習日 4月25日(日) 13時30分～14時30分

対象者 小学3年生以上

会場 市民スポーツセンター・武道場

参加料 500円(マウスピース代含)

定員 10人

受付期間 4月12日(月)～4月24日(土)

申込方法 お電話でお申込みください。

講師 高知県スポーツ吹矢協会土佐清水支部(和田)

※運動の出来る軽装室内シューズをご用意ください。(用具は用意いたしません。)

「シニアすこやか温水トレーニング」を開講します

この講座は、ひざや腰への負担が少ない水中運動で、筋力を鍛え柔軟性を向上させると共に楽しく温水プールでトレーニングすることにより、介護状態になることを予防することが目的です。

期間・時間 【前期】5月～9月 【後期】11月～2月

時間 すべて12時15分～13時15分

コース・定員 毎週月曜コース(全15回) 30人

毎週金曜コース(全15回) 30人

会場 市立温水プール

対象者 65歳以上の四十市民で介護保険要介護認定を受けていない人

※持病のある人は事前にかかりつけ医師にプールで運動しているか確認してください。

※申込者が定員を上回る場合は、この講座を受講したことのない人を優先します。

水中ストレッチ、水中ウォーキング、アクアビクスなど

講師 (財)四十市体育協会所属の水泳指導者(指導主任1名・指導助手1名)

参加料 無料(プール入場料も無料)

受付期間 4月12日(月)～4月28日(水)

その他 実施期間終了後、半年に1回体力測定および健康チェックを行います。

申し込み・問い合わせ先 市民スポーツセンター内 (財)四十市体育協会事務局 ☎(34)2071



1年に1度は検診を
～健康は自分で～

保健カレンダー

4

中村地域

西土佐地域

月日	事業名	該当地区	時間	場所
4月12日(月)	胃がん検診	東山	8:00～10:30	古津賀ふれあい会館
4月13日(火)	胸部レントゲン(肺がん検診)	下田	個別通知	下田地区
	乳幼児(赤ちゃん)相談			
4月14日(水)	ママ&チルドレン		10:00～11:30	具同体育センター
	献血		13:00～16:30	黒潮医療専門学校(有岡)
4月15日(木)	献血		9:00～13:00/14:00～17:00	フジグラン四万十
	乳児・1歳6ヵ月児・3歳児健診			
4月16日(金)	献血		9:00～12:30	四国電力(株)中村支店裏車庫
	1歳9ヵ月児健診			
4月20日(火)	胸部レントゲン(肺がん検診)	東中筋・中筋	個別通知	東中筋・中筋地区
	胸部レントゲン(肺がん検診)	八束	個別通知	八束地区
4月21日(水)	乳児健診		12:50～13:30	健康管理センター
4月22日(木)	胃がん検診	東中筋	8:00～10:00	JA高知はた中村西部事業所
4月23日(金)	狂犬病予防注射		個別通知	東中筋・中筋・大川筋地区
4月26日(月)	特定健診(生活習慣病健診) 注1	中筋	9:30～10:30/13:30～14:30	中筋小学校
4月28日(水)	ママ&チルドレン		10:00～11:30	具同体育センター
4月30日(金)	3歳児健診		12:50～13:30	健康管理センター
	1歳9ヵ月児健診			
5月7日(金)	狂犬病予防注射		個別通知	東山・下田地区
	ポリオ 注2			
5月10日(月)	特定健診(生活習慣病健診) 注1	東中筋	9:30～10:30/13:30～14:30	JA高知はた中村西部事業所
5月11日(火)	ポリオ 注2		14:00～14:40	健康管理センター
	胸部レントゲン(肺がん検診)			
5月12日(水)	ポリオ 注2		14:00～14:40	健康管理センター
	胸部レントゲン(肺がん検診)			
5月13日(木)	ポリオ 注2		14:00～14:40	健康管理センター
	胸部レントゲン(肺がん検診)			
5月14日(金)	ポリオ 注2		14:00～14:40	健康管理センター
	狂犬病予防注射			
	胸部レントゲン(肺がん検診)			
	医師による子育て相談 注3		9:00～12:00/13:00～17:00	健康管理センター

注1) 特定健診(生活習慣病健診)は、40歳以上の国保加入者で受診票又は受診券を送付している人が対象です。

注2) ポリオ対象者(個人通知します)

1回目…平成21年7月10日～平成22年2月14日生まれの人 2回目…未済者…平成14年11月12日～平成21年7月9日生まれの人

注3) 事前予約が必要です

※4月10日までの計画については、広報四万十3月号に掲載しています。

お早めに麻しん風しん予防接種を済ませましょう!

麻しん(はしか)は、小児期に多い急性の感染症ですが、近年は10～20歳代での感染が多く見られ、社会的な問題にもなっています。

この世代の発症を防ぐため、平成20年度から5年間の期限付きで、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の人に麻しん風しんの追加予防接種が行われています。

麻しんにかからないためには、予防接種が最も効果的であり、また2回の接種が重要です。自分自身が感染しないためだけでなく、周りの人を感染から守るためにも予防接種を受けましょう。

対象者には個別に通知をしますので、体調のよい時にできるだけ早く受託医療機関で予防接種を受けてください。(接種料金は無料です)

《22年度の対象者》

1期	1歳～2歳未満	1歳になる直前に通知します
2期	平成16年4月2日～平成17年4月1日生(小学校就学前の1年間)	4月上旬に通知します
3期	平成9年4月2日～平成10年4月1日生(中学1年生相当年齢)	接種期間 平成22年4月1日 ～ 平成22年3月31日
4期	平成4年4月2日～平成5年4月1日生(高校3年生相当年齢)	

※毎年春から夏にかけて麻しんの流行がみられます。2～4期の人は早め(4月～6月をめど)に接種しましょう。

◆問い合わせ先◆ (本庁)保健介護課 ☎(34)1115 (総合支所)保健課 ☎(52)1132



がんばってます 市民病院 です



新任医師紹介



市民病院 脳神経外科長

かわた しょうこ
川田 祥子

【資格】

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医

みなさま、はじめまして。

この4月から、市民病院で働くことになりました。大阪生まれの大阪育ちですので、間もなく始まる四万十市での暮らし・生活に期待と緊張が入り交じり、身の引き締まる思いです。

市民の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。

脳神経外科は、内科などと比べるとなじみの薄い科だと思いますが、頭痛やめまい等をはじめ、なにか気になることがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

主な履歴

昭和63年 3月	大阪府立北野高校卒業
平成 8年 3月	大阪医科大学卒業
平成 8年 4月	大阪医科大学脳神経外科入局
平成10年 6月	大阪府立三島救命救急センター勤務
平成10年12月	囃生会脳神経外科病院勤務
平成11年 6月	大阪医科大学附属病院脳神経外科助教
平成14年 9月	祐生会みどりヶ丘病院脳神経外科勤務
平成18年12月	仙養会北摂総合病院脳神経外科医長

4月6日(火)より『禁煙外来』始めます！

～タバコをやめたい人の専門外来です～

毎週火曜日午後(予約制)

きよたに ともろう

担当医師 清谷知郎先生

タバコをやめたいと思っていてもなかなかやめられない方は、ぜひご相談ください！

予約受付 ☎(34)2126

禁煙

No smoking



最後に、参加者全員が消火器による消火訓練を行い、実践に向けて真剣に取り組むことができました。

火災はいつ起こるかわかりません。突然のこととでパニックになってしまうこともあるので、今回のような訓練を受けておくことはとても大切です。

また、はしご車も出動し消防署員が屋上に取り残された入院患者を救助したり、4・5階からは救助袋を使った脱出訓練も行いました。

3月3日、「春の火災予防運動」の一環として、病院職員と四万十消防署員約50人が参加し火災避難訓練を行いました。

「2階の湯沸室から出火し、3階に延焼した」という想定で院内に非常ベルが鳴り、119番通報、院内放送、入院患者の誘導、救急医薬品の非常時持出の訓練など、緊張した雰囲気の中、防災マニュアルと実際の行動とを確認しました。



火災避難訓練を行いました

「ふれあい 消防フェア」にて

3月6日、フジグラン四万十にて「ふれあい消防フェア」が行われました。

今回のフェアでは、新たに「市民病院健康相談コーナー」を設け、医師や看護師などのスタッフが、血糖・血圧測定のほか、ポスターやパンフレットを使った健康相談を行いました。

当日は、20代から80代までの約50人の方々に足を運んでいただき、病気を抱えながらも、それと向き合いながら活き活きと日々を過ごされている様子や、ご家族の体の不安など、健康についての悩みをじかに聞き取ることができ、私たちスタッフにとっても大変有意義な経験になりました。

このような市民参加型のイベントをこれからも実施していきますので、ご協力よろしくお願ひ致します。



私の鍼灸日記番外編

「メジロ」

市民病院中医学研究所付属鍼灸院
鍼灸師 山崎道広

ここ最近、私は歩いて通勤しています。自身の健康のためもありますが、患者さんに運動が必要だと諭す割には、私が運動不足では説得力がないからです(酒豪の方に禁酒を薦められるようなものでしょう)。

すると、今までに無い出会いがありました。相手は「メジロ」です。彼彼女かもは、決まって雨上がりの朝に遭遇します。また、場所も決まっており、同じ民家の庭先で、羽を休めているのです。最初は、「ああ、メジロか」と思うくらいで通り過ぎようとしたしま

したが、ふと足を止めました。そういえば、私はジロジロとメジロを観察したことが無かったのです。正直に言えば、中村に来てから「メジロ」という存在を知り、姿を見ました。こちらの地元の人は信じられないでしょうが、関東の都会育ちで、メジロを見たことがある人のほうが少ないかもしれません。詳しく観察してみると、妙な

が必要で、さらに登録手数料も納めなくてはならないといいますが(3400円/年)。しかも一世帯に一羽と数も決まっているそうです。

よくよく考えれば、これはすごいことで、届け出をしてまだ家にメジロを飼いたい人がいるという証拠です。確かにかわいいですが、ペットショップにはメジロより鮮やかな鳥はいるはずですが(メジロに失礼ですね)。ですが、メジロにこだわ

理由は、おそらく、「観る」だけでなく、「聞く」という魅力が備わっているからではないでしょうか。そのため乱獲が進み、絶対数が減少してしまつた。その結果、今のようなメジロ保護法(正式には鳥獣保護法)が確立されたことメジロ初心者のは勝手ににらんでいます。

今回、なぜこんな話がH君から聞けたかというところ、その昔、H君の知人のおんちゃん(複数の野生メジロを自宅保護(実際には捕獲?)していたそうです。それが、周りに知られてきたので、慌ててメジロを逃がしたという逸話を拝聴している時に聞いた仕組みでした。当時は、さすが土佐のおんちゃん、と笑っていましたが、詳しく

くも知りもしないでいい加減な対応をとっていたものだとわれないが反省します。

しかし、そんなおんちゃんのハートを射止めることができず、さぞかし良い声の持ち主なのでしょう。その思い出話を回想しながら、メジロのサエズリを聞いてみたという気持ちはますます深まりつつありました。

数日後、チャンスは突然やってきました。場所は赤鉄橋です。帰宅途中に歩いていると、小さな鳴き声はどこからか聞こえます。もしかして、メジロかもしれないと鉄橋から上や下をグルグルと眺め、探しました。すると、3〜5羽のメジロが鳴きながら上空を飛び去っていくのが見え、やっとメジロのサエズリが聞けました。例えば、赤ちゃんスズメがはしゃいでいるような声でしょうか。

紙面上の都合もあり、いささか強引な結びですが、みなさんにも春の運動をお勧めします。その際に、メジロのサエズリに遭遇していただければ幸いです。「私の鍼灸日記は今回で終了します。長い間のご愛読本当にありがとうございます。ありがとうございました。」

介護保険だより



ひとりで悩まないで
気軽に相談してください

介護で困った、つらい、悲しい、苦しい、腹立たしい…こんな時相談したり、話を聞いてもらうだけで随分違います。そんな話ができるところの一つに「家族の会」があります。今回は四万十市、幡多郡、高知県の家族の会をご紹介します。

四万十市認知症家族の会「たんぼぼの会」

認知症の方を介護している人や、看取り終えた人たちが集まり、日々の介護の戸惑いや、悩みなど、介護を経験して分かることを、現在介護している方たちなどに、何か役立ててほしいという思いから平成21年4月2日『たんぼぼの会』が結成されました。

この名前には、認知症の人と家族の方が春を告げる「たんぼぼ」のように、ホッと安らげる集いの場所になりたいという願いがこめられています。

たんぼぼの会員は、各地域や団体等の集まりに参加し、体験談や座談会をし、「認知症の理解」を広げていくことや介護の苦労や悩みを話し合う交流会、電話等での相談も受けています。みんな【無理をせず】【行ける時に】【行ける場所】で活動しています。



幡多家族の会（認知症の人と家族の会） 代表 小島正子

0880-6610208

①交流会（3ヶ月に1回）をしたり、講演会や会報などにより情報を提供しています。
②世話人を設けて相談を受けています。

認知症の人と家族の会 高知県支部

コールセンター・家族の会
電話・FAX
088-821-2818

認知症の知識や介護などの相談、精神的な悩みなどの相談等
相談時間 月曜～金曜
(土・日・祝祭日休み)
午前10時～午後4時

たんぼぼの会世話人	松岡 時規子(事務局)	☎(34)4528
	小野 順子	☎(34)4769
	山本 利子	☎(34)4982
	岡上 正子	☎(34)2980
	金沢 聡子	☎(34)2384
	久米田直美	☎(35)4021

※幡多家族の会(左記)の世話人でもあります

問い合わせ先

地域包括支援センター
(市立市民病院内) ☎(34)0170
地域包括支援センター西土佐支所
(保健センター内) ☎(52)1000

図書館だより

平成22年
4
April

開館時間 9:00~18:00

★休館日の案内

4月 5日(月) 定休日
12日(月) 定休日

※※ 4月17日(土)～6月30日(水) 全面休館 ※※

ご注意ください!!!
(貸し出し・問い合わせ等の一切の業務を中止します。)

★休館が近づきました(お知らせ)

本の回収にご協力ください。
図書館の長期休館について、今までお知らせして参りました。

4月17日からの休館に入る前に、できるだけ本の回収作業を終わらせておく必要があります。自宅に図書館のラベルの付いている本がありましたら、早急にご返却下さい。重ねてご協力をお願いします。

(問) 市立図書館 ☎(35)2923

一般書

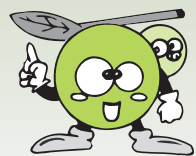
赤ちゃんとママのつづつ雑穀マタニティごはん	大谷 ゆみこ
アユ学	谷口 順彦
「いびき」はからだの赤信号	巽 浩一郎
男おひとりさま道	上野 千鶴子
逆説の日本史 第16巻	井沢 元彦
県別名字ランキング事典	森岡 浩
竹肥料農法	橋本 清文
働く女性が35歳の壁を乗り越えるためのヒント	錦戸 かおり

児童書/えほん

かしこいモリー	エーロール・ル・カイン
黒魔女コンテスト	エヴァ・イボットソン
高校時代にしておく50のこと	中谷 彰宏
児雷也 がまのって	飯野 和好
すてきなルーちゃん	たかどの ほうこ
ともだちキリン!	村上 康成
とんとんとん こんにちは!	まつい のりこ
左手がなくても ぼくは負けない!	高橋 うらら

4月の新着図書(347冊)

ねんきんだより



学生には

「学生納付特例制度」があります！

日本国内に住むすべての人は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり保険料の納付が義務付けられていますが、学生については、申請により保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。

《対象者》

大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校等^{※1}に在学する20歳以上の学生で、学生本人の前年の所得が118万円以下^{※2}の人（平成21年度の所得基準）

※1：夜間・定時制課程や通信制課程も含まれます。

※2：扶養親族等がいる場合や社会保険料控除等がある場合は、その数や金額に応じた額が加算されます。

《承認期間》

平成22年4月から平成23年3月まで

《承認を受けた期間は…》

老齢基礎年金や障害基礎年金、遺族基礎年金の受給資格期間に算入されます。

10年以内であれば在学期間中の国民年金保険料を社会人になってから納付（追納）で

きますので、将来受け取る年金額を満額に近づけるためにも追納するようにしましょう。

※承認を受けた年度から起算して、3年度目以降に追納する場合には、当時の保険料に一定の加算額がかかります。

《申請手続き》

本庁市民課または総合支所住民課で、早めに申請してください。

申請は毎年度必要です（前年度に承認を受けていた人も、引き続き学生の場合は再度申請が必要です）。申請が遅くなると、万が一の時に障害基礎年金等が受けられなくなる場合がありますので、注意ください。

※前年度に学生納付特例の申請をした人で、申請書に卒業予定年月日を記入し、本年度も引き続き在学中の人にについては、日本年金機構から申請ハガキが送付され、簡単な記入で申請することができます。

申請に必要なもの

年金手帳、学生証の写しまたは在学証明書、印鑑（本人署名の場合は不要など）

問い合わせ先

幡多年金事務所
☎(34) 1616

(本庁)市民課 市民係
☎(34) 1113

(総合支所)住民課 住民国保係
☎(52) 1111

人口動態職業・産業調査へのご協力をお願い

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届け出をされる方へ

平成22年度は国勢調査の実施年にあたり、出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届け出をされる方に、人口動態職業・産業調査をお願いすることとしております。

この調査結果は、今後の厚生労働行政の基礎資料として活用いたしますので、届け出をされる方にはお手数をおかけしますが、ご協力をお願いします。

《調査期間》

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間

《調査方法》

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届け出をされるときに、それぞれ職業を記入していただきます。

また、死亡届には、農業、建設業、不動産業といった産業も併せて記入していただきます。

届け出をする際、窓口「職業・産業例示表」を備え付けていますので、参考のうえ記入をお願いします。なお、わからない場合は窓口でおたずねください。

後期高齢者医療保険料の納め忘れはありませんか

■保険料の納め忘れはありませんか

後期高齢者医療制度では、被保険者それぞれの人に保険料が賦課されています。保険料に未納のある人には督促状や催告書が送付されています。納め忘れのある人は、至急納付をお願いします。

■平成22年度後期高齢者医療保険料の仮徴収が始まります。

◎新たに「年金からの天引き」が始まる人

- ☆対象となる人（以下の3つの要件をすべて満たしている人）
 - ・原則平成21年6月28日から10月2日までに資格を取得した
 - ・年金が年額18万円以上で、介護保険料と合わせた保険料額が年金額の1/2以下
 - ・口座振替への納付方法変更申し出をしていない
- ☆4月支給分の年金から天引きが始まる人には、4月初旬に通知書を送付します。

◎現在「年金からの天引き」となっている人
原則として平成22年2月の年金から天引きした金額と同じ金額を、平成22年度の保険料の仮徴収分として、4月・6月・8月に特別徴収（年金天引き）で納めるようになります。

【問い合わせ先】

(本庁) 保健介護課 国保係 ☎(34) 1114
(総合支所) 住民課 住民国保係 ☎(52) 1111

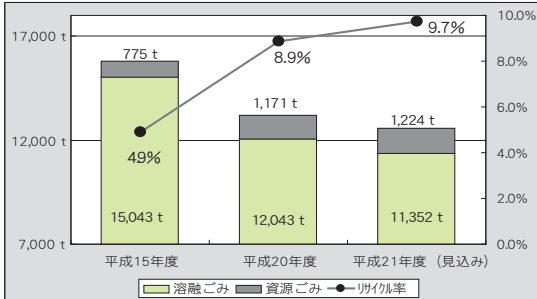
【問い合わせ先】

(本庁) 市民課 ☎(34) 1113
(総合支所) 住民課 ☎(52) 1111



ごみ減量大作戦!

なんと1世帯当たりで横綱級 228kgのごみ減量を達成!



市民の皆さんのご協力で平成21年度は20年度と比べ691tのごみ量が最大だった15年度と比べれば3,691tのごみが減る見込みとなりました。1世帯あたりでは、昨年度より約43kg、15年度との比較では、約228kg(≒横綱曙太郎の現役時の体重)もの削減となります。今後ともご協力をよろしくお願いします。

市のごみ収集袋はどうして長方形なの?

■ごみ袋の形状比較表

特徴	長方形	レジ袋型	説明
利便性	×	○	レジ袋型が、袋の口が結びやすく、持ち運びやすい。
容量および環境負荷	○	×	同じ大きさの袋なら持ち手の分だけレジ袋型の容量が小さくなり、同じ容量の袋ならレジ袋型が大きくなり、CO2の発生量など環境負荷が増加する。
製造費用	○	×	同じ材質で同容量の袋の製造単価は、レジ袋型が2倍以上となり、四万十市で1年間で使用される袋の枚数は100万枚で、レジ袋型は800万円も高くなります。
見積金額	6,220,000円	14,450,000円	

市民の方から、「ごみ袋の口を結びやすくするために、袋の形をレジ袋型に変更してはどうか。」のご意見をいただいたており、四万十市廃棄物減量等推進審議会でも、上記の理由で、変更しないこととしましたのでお知らせします。ご理解とご協力をお願いします。

また、来年度よりごみ処理経費の軽減のため、市が製造発注するごみ袋の厚さは、これまでより0.005mm薄くし、0.03mmとすることを併せてお知らせします。

市では、これにより年間102万円のごみ処理経費の削減につながると試算しています。



3R!市民一人ひとりができることから

四万十川などの豊かな自然環境の保全や生活環境を守るためには、市民、一人ひとりができることから取り組みを始めることが大切です。まずは、身近な家庭ごみの取り組みから始めませんか。リデュース(ごみを出さない)、リユース(物を繰り返し使う)、リサイクル(資源として再利用する)の3Rに心がけてください。



4月から傘は骨だけにすると資源として無料収集します。必ず骨だけにして資源ごみステーションに出してください。

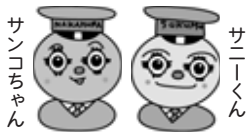
- ①アルミ缶 ※飲み物が入っていた缶
- ②スチール缶 ※飲み物が入っていた缶
- ③その他の缶 ※飲み物以外の缶、金属製キャップ

今までアルミ缶とスチール缶と一緒に回収していましたが、リサイクルの向上のため、平成22年4月から、①アルミ缶 ②スチール缶 ③その他の缶の3種類に分別することになりました。詳しくは、ご家庭にお配りした「ごみ収集計画表」をご確認ください。ご協力よろしくお願いします。

資源ごみ分類について

ごみ減量大作戦シリーズは今回の55号を持って終了いたします。長い間のご愛読本当にありがとうございました。これからも市の環境行政に変わらぬご支援をお願いします。

■ 問い合わせ先 ■
 (本庁) 地球環境課 (総合支所) 住民課
 ☎(34)6126 ☎(52)1111



土佐くるしお鉄道NEWS

© やなせたかし
土佐くるしお鉄道(株)

期日	清掃駅名
5月8日	具同・国見・有岡
6月5日	工業団地・平田
7月3日	土佐入野
8月7日	東宿毛・宿毛
9月4日	古津賀・西大方
10月2日	浮鞭・海の王迎
11月6日	土佐上川口・有井川
12月4日	土佐佐賀
1月8日	土佐白浜・佐賀公園
2月5日	伊与喜・荷稻
3月5日	若井・窪川

◎平成22年度一斉清掃のお知らせ
毎月第1土曜日には駅のボランティア一斉清掃を行っています。お近くの駅で行われる際はぜひご参加ください。(清掃時間10時~11時)

◎中村駅売店は「Kuro Kuro」
中村駅のリニューアルに合わせて、中村駅売店も「Kuro Kuro」として新装開店しました。皆さまにご利用いただき、ますますお願いいたします。

◎中村駅がリニューアルしました。
昭和45年10月に開業した中村駅も40年余りが経過しましたが、この度、待合室をはじめ、売店、コンコース、トイレ、1番ホームをリニューアルしました。待合室、売店、1番ホームには、高知県幡多産の間伐材をふんだんに使用しており、落ち着きのある空間となっています。
また、1番線から2・3番線への移動には、エレベーターを設置しました。
3月20日には、関係者により記念式典が開催され、もちつき、もち投げ、物産市でにぎわいました。

問い合わせ先 土佐くるしお鉄道株式会社 中村駅 ☎(35)4961
高知西南地域公共交通協議会事務局 (市企画広報課) ☎(34)1129

中心市街地活性化だより

～皆さんの『まち』が変わります!～

Vol.33

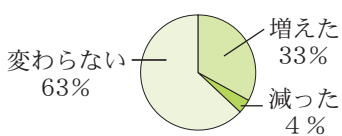
四万十市プレミアム付き商品券について

プレミアム付き商品券は、四万十市商店街振興組合連合会がまちなかを少しでも活性化するため、昨年発行したもので、第1弾では6,000万円、第2弾では約1億1,000万円分の商品券が売れ、中心市街地への消費効果が図られました。事業の効果を検証するため、各種調査を実施し、先月号では市民アンケート調査の結果を報告しました。今回は協賛店へのアンケート結果及び商品券購入者層の調査結果についてご報告します。

●協賛店へのアンケート結果

協賛店にアンケート調査を行った結果(回収数73店舗)、商品券実施後の売上の変化について、63%の店舗が『変わらない』との回答でした。「いつものお客様が利用しただけ」、「店負担額があるので利益には繋がっていない」などの理由があげられました。売上が増えた」と回答したのは33%でしたが、商品券により「新規顧客開拓に繋がった」との意見も聞かれ、少なからず中心市街地へ消費者を呼び込むきっかけになったのではないかと考えます。

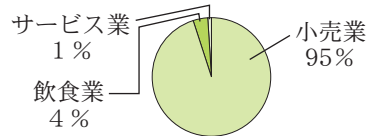
売上の変化について



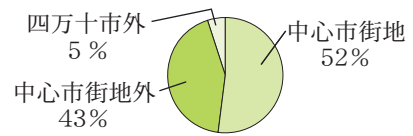
●商品券の使われ方

商品券が使用された業種を大きく分類すると小売業(95%)、飲食業(4%)、サービス業(1%)で、小売業の中でもスーパーがその半数を占めました。市民アンケートでもあったように、食料品や日用品が大半で、その他家電量販店にも多く券が使われました。飲食業では、年末年始という時期もあつて居酒屋、サービス業では美容室や写真館などでの使用が多く見られました。

商品券利用の業種別割合



商品券購入者の主な地域



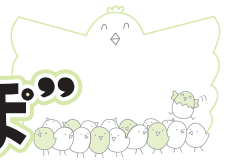
●購入者層の調査結果
商品券を購入した人は4,290人(第1弾1,248人、第2弾3,042人)でした。購入者の地域を見てみると、まちなかで買い物をする方は、中心市街地以外の方も半数近くいることが

今回の調査で、協賛店や市民のみなさまに貴重な意見をたくさんいただきました。これらの結果を参考に、今後もまちの活性化に向けて取り組んでいきますので、ご協力及びご支援いただきますようお願いいたします。

住むひと・訪れるひとが“笑顔”になれるまちを目指して

問い合わせ先 (駅前仮庁舎)商工観光課 ☎(34)1783

四万十市地域子育て支援センター “ぽっぽ”



子育ては、なにかとストレスがたまりがちなもの。家に閉じこもりがちになったり、育児に自信がもてなくなったりしていませんか。四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”は、子育て真最中のお母さんやお父さん、ご家族の子育てを支援するための施設です。親同士、子ども同士が親しみ、触れ合う小さな出会いの場としてご利用ください。



子育て支援センターはこんな活動を行っています



親子ふれあい活動

◇1・2・3歳児対象

簡単なおもちゃを作ったり、リズム遊びや園庭遊びなど体を動かしたり親子で楽しめます。

毎週1回程度 9:30～11:30

◇びよちゃんクラブ

対象：妊婦さんと0歳児(平成21年4月以降に生まれたお子さん) 絵本を読んだり、親子のふれあい遊びを楽しみます。

月1回程度 9:30～11:30

フリーデー

活動を行っていない日の午前中(9:30～11:30)と、毎日午後(13:00～17:00)も開所しています。子どもさんの、生活リズムを考えながらご利用ください。

子育て相談

◇電話相談・来所相談

子育てについて日ごろ思っていること、悩んでいることなど気軽にご相談ください。

毎週月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

☆家庭児童相談員による育児相談 (毎月第3火曜日)

利用できる人

子育て支援センターの活動・利用は、市内在住で保育所や幼稚園に通っていない就学前の乳幼児とその保護者、家族を対象としています。



親子ふれあい活動 1・2・3歳児対象

はじめましてよろしくね!

1年間仲良く過ごすお友だちと顔合わせ。みんなで手遊びをしたり、歌をうたって楽しく過ごしましょう♪

時 4月16日(金) 9:30～11:30

場 子育て支援センター

ぽっぽで遊ぼう①②③

※日程ごとに①②③グループに分かれます。

グループのお友だちと“ぽっぽ”のお庭やおもちゃで遊ぼうね! 手作りの名札を作ったり、自己紹介もするよ。

時 ①4月20日(火)、②22日(木)、③23日(金)

9:30～11:30

場 子育て支援センター



その他の活動

びよちゃんクラブ (はじめましてよろしくね!)

1年間仲良く過ごすお友だちと顔合わせ。みんなで手遊びをしたり、歌をうたって楽しく過ごしましょう♪

時 4月27日(火) 9:30～11:30

場 子育て支援センター

お願い

参加を希望する人は、準備等の都合がありますので、あらかじめご連絡ください。なお、それぞれの活動については、1グループ20組程度に分かれての活動となりますのでご了承ください。駐車場は、少しスペースが狭く10数台しか置けませんので構わない人は乗り合わせてご来所ください。



問い合わせ先



四万十市地域子育て支援センター “ぽっぽ”

右山元町1丁目2-10 (旧元町保育所) ☎(35)3748

心豊かに食べる



ころころ肉の いら玉チャーハン

所要時間約15分

豚ヒレ肉(厚切) ……200g
酒 ……少々
塩・こしょう ……少々
オイスターソース ……小さじ1
いら ……1束
たまねぎ ……1/2個
にんじん ……1/2本
卵 ……3個
おろしにんにく ……少々
ごま油 ……小さじ2
ごはん ……750g(丼3杯)
塩・こしょう ……適量
しょうゆ ……小さじ1
ふし粉 ……3g

(材料: 3~4人分)

(1人分)
エネルギー: 485 kcal
たんぱく質: 22.6g
脂 質: 9.1g

●●管理栄養士からのメッセージ●●

生鮮食料品売場の地産品コーナーにうどやたら芽、山菜や筍が出ると春の訪れを感じ、気持ちも軽やかになります。芽吹き期のこの時期にしか食べることができない貴重な野菜たちには、独特の苦味や香りがあり、体にたまった脂肪や水分を排出してくれる働きがあります。食卓から春を感じ、体も目覚めさせてみませんか。

ビタミンが豊富で香りのアクセントにもなる“いら”は、高知県の特産品で、これからの季節が旬です。

スープや味噌汁、炒め物やあえもの、餃子などにどんどん使しましょう。

ころころ肉の食感がポイントのチャーハン、いらと相性のいい卵を加えて春らしく♪

①たまねぎとにんじんは細かく刻み、いらは2cm長さ切っておきます。
②豚肉は一口代のさいころに切って塩・こしょうと酒・オイスターソースで下味をつけ、油(分量外)を熱したフライパンで焼いて取り出します。

③油(分量外)を熱していらをさっと炒め、とき卵を回し入れてふわりと焼いて取り出しておきます。

④厚手のフライパンにごま油とおろしにんにくを入れて熱し、たまねぎ、にんじん、ご飯を炒め、豚肉も加えて炒めます。

⑤ふし粉と調味料を加えて味をととのえ、最後にいら玉をざっと絡めます。

【ポイント】いら玉を最後にあわせるときれいな春色に仕上がります。

福祉事務所保育所係 管理栄養士 橋田典子

行政相談所

《中村地域》
〔行政相談委員〕
武田 二三生 四万十市敷地1334番地
☎(35)6414
佐竹 猛 四万十市渡川3丁目12番25-15号
☎(37)2628

日時 4月20日(火) 13時〜16時
場所 社会福祉センター

《西土佐地域》
〔行政相談委員〕
横山 賢 四万十市西土佐橋117番地
☎(52)1074

日時 4月9日(金) 9時〜12時
場所 大宮中生活改善センター

(本庁)総務課 ☎(35)2044
(支所)総務課 ☎(52)1111

相談

国や県、市の仕事に対する住民の皆さんからの苦情や要望をお聞きし、その解決や実現を図るため、行政相談委員(総務大臣の委嘱)による行政相談を行います。

相談は定期相談のほか、各委員の自宅等でも受け付けています。相談費用は無料で、秘密は厳守されますのでお気軽にご相談ください。



防犯メモ

必ず鍵をかけましょう!!

中村署管内の窃盗犯発生状況(平成21年1月〜12月)
窃盗犯 合計 353件
※うち245件が四万十市で発生しています。

(主な被害)

空き巣	16件
出店荒らし	3件
工場荒らし	2件
倉庫荒らし	2件
自動車盗	2件
(無施錠)	2件
オートバイ盗	7件
(無施錠)	3件
自転車盗	55件
(無施錠)	37件
車上ねらい	57件
(無施錠)	46件

- 自動車、オートバイ、自転車などの乗り物盗の大部分は、鍵をかけていない場合に発生しています。
- 少しの時間でもその場所を離れる場合には、鍵をかける習慣をつけ、被害にあわないようにしましょう。

中村地区地域安全協会
(中村警察署内)
☎(34)0110



21年度の市税の納め忘れはありませんか。
今一度お確かめください。

相談

特設人権相談所

人権擁護委員が、金銭・相続・借地借家・結婚・離婚・セクハラ・DV・いじめ・児童虐待・交通事故・裁判費用など人権に関する問題を無料・秘密厳守で相談に応じます。

日時 5月10日(月)
10時〜12時 13時〜15時

場所 JA高知はた中村南部出張所

日時 5月12日(水) 13時30分〜15時30分
※事前予約制 相談時間1人30分以内

場所 高知地方法務局四万十支局

高知地方法務局四万十支局
☎(34)1600

お知らせ

第6回四万十市(中村地域)成人式開催日程

中村地域の成人式は、次のとおり開催します。詳しい日程などについては、広報11月号でご案内する予定です。

対象 平成23年1月3日(月)午後
市立文化センター
平成24年4月2日から
平成3年4月1日までに
生まれた人

(市)教育委員会 生涯学習課
☎(34)7311

お知らせ

土地価格等・家屋価格等縦覧帳簿を「ご覧いただけます」。

場所 (本庁)税務課 資産税係
(総合支所)総務課 税務係

期間 4月1日(木)〜5月31日(月)

縦覧できる人
土地・家屋の固定資産税納税者、委任状持参者、納税管理人
*手数料は無料です

(本庁)税務課 資産税係
☎(35)4428
(支所)総務課 税務係
☎(52)1111

教室・講座

キッズヨガ子供教室

ヨガは、勉強やスポーツで崩れた姿勢と体のバランスを整え、集中力・学習能力・運動能力・免疫力アップに効果的です。
視野が広がり、自分を大切に、周りに感謝できる心のゆとりが保てます。

日時 5月11日(火) 毎週火曜日 8回
時間 17時30分〜18時30分

会場 市民スポーツセンター 武道場

参加料 2,000円(保険料込み)

定員 15人

対象者 小学3年生〜高校生

受付期間 4月12日(月)から

講師 RYOKO☆Yoga(岡村良子)

市民スポーツセンター内(財)四万十市体育協会
☎(34)2071

自衛官募集 (平成23年春入隊)

受験科目	一般自衛官	幹部自衛官
応募資格	平成23年4月1日現在18歳以上27歳未満の者(但し、高校生は受験できません。)	平成23年4月1日現在22歳以上26歳未満の者
一次試験	5月22日(土)	5月15日(土)
受付期間	4月1日(木)～5月10日(月) ※一人で両方の科目を受験できます。	
待遇	初任給159,500円～214,900円(平成21年度実績)、食事・光熱費・宿舍費等無料、賞与年2回、年次休暇、夏季・年末年始の特別休暇等があり原則として週休2日制。	

☎ 自衛隊四万十地域事務所 ☎(35)3096

市体育施設を利用する各種大会

安並体育施設等の利用予約状況(5月～7月)を掲載しますので、興味のある方はぜひ観覧してみてください。
(予定ですので変更になる場合があります。)

期日	大会名	会場
5/9(日)	高知ファイティングドックス公式戦	四万十スタジアム
5/9(日)・16(日)	第29回幡多地区春季スポーツ大会	安並アリーナ他
5/15(土)・16(日)	中央区中学校球技大会	安並アリーナ他
5/23(日)	ソフトバレーボールミカサ杯	安並アリーナ
"	高松宮賜杯軟式野球1部幡多予選大会	四万十スタジアム
"	9人制女子バレーボール大会	具同体育センター
6/6(日)	高松宮賜杯軟式野球1部幡多予選大会	四万十スタジアム
6/12(土)・13(日)	中学校県総体幡多予選	安並アリーナ他
6/13(日)	家庭婦人バレーボールフジカップ杯	安並アリーナ他
6/19(土)・20(日)	高知ファイティングドックス公式戦	四万十スタジアム
6/20(日)	パドミントン体協会長杯	安並アリーナ
6/27(日)	天皇賜杯軟式野球予選大会	運動広場
7/4(日)・25(日)	家庭婦人バレーボール夏季大会	安並アリーナ他
7/11(日)	ソフトバレーボール体協会長杯	安並アリーナ
"	ミックスバレーボール体協会長杯	具同体育センター
"	9人制女子バレーボール中村クリニック杯	具同体育センター
7/18(日)	四国王座杯軟式野球幡多予選大会	運動広場
7/22(木)～26(月)	宝塚ボーイズ合宿	四万十スタジアム他

☎ 市民スポーツセンター内(財) 四万十市体育協会 ☎(34)2071

木造住宅耐震診断を受けませんか

募集
対象住宅：昭和56年5月31日以前に着工された2階以下の木造住宅。ただし、枠組壁工法(プレハブ、ツーバイフォー等)、丸太組工法などは対象外となります。
募集戸数 25戸
費用 1棟あたり3,000円
申込期間 4月20日(火)～5月31日(月)
※土・日・祝日除く
申込方法 上記期間中に電話による仮受付(先着順)を行い、審査のうえ後日申込書を出していただきます。

☎(本庁)企画広報課 ☎(35)2044
☎(支所)総務課 ☎(52)1111

みんなの力で美しく！四万十川市民一斉清掃に参加しましょう！！

募集
私たちの住むまちを流れる四万十川が、重要な文化的景観に選定され、四万十川とともに暮らしてきた人々がつくりあげた風景が文化財となりました。この美しい四万十川を子どもたち、孫たちへと伝えていくのは私たちの責務です。
四万十川の映えるまち、つくりこみに皆さまのご協力をお願いいたします。
日時 4月11日(日)8時～9時
小雨決行、雨天中止
集合場所
○中村地域
①勝間(鶴ノ江)沈下橋 ②高瀬沈下橋、
③佐田沈下橋、④渡川緑地(赤鉄橋具同側)、
⑤四万十川お祭り広場(赤鉄橋中村側)、
⑥四万十川記念公園(山路四万十屋北)、
⑦四万十大橋(鍋島ポルト競技場跡地)、
⑧佐岡橋(後川右岸中村側)、
○西土佐地域
①西土佐消防分署前駐車場、
②岩間沈下橋、③口屋内沈下橋
収集物
ビン・カン類、ビニール類、ペットボトル、紙類等
収集するものは、お配りするビニール袋に入るものとし、処理困難物(タイヤ、テレビなど)は処理できないごみは対象外とします。
その他
軍手、ゴミ袋は各集合場所で配布します。

☎(本庁)地球環境課 四万十川対策室 ☎(34)1170
☎(総合支所)住民課 ☎(52)1111

平成22年度いきいきクラブ

募集
内容 体操・ゲーム・ウォーキング等を取り入れた「いきいきクラブ」を開催します。
体力は年齢とともに落ちていきます。体力を維持するには、運動を続けることが大切です。ゲーム等を楽しみながら楽しく運動をしてみませんか。
期間 5月10日(月)～平成23年3月下旬
(8月と1月は休み)
毎週 月曜日 13時30分～15時00分
(祝祭日は休み)
会場 安並スポーツセンター他
準備運動：体をほぐし柔らかい身体になります。
いきいき体操：動くことが楽になり転倒しにくい身体になります。
ゲーム等：楽しみながら体力をつけていきます。
ミステリーツアー：郊外に出てウォーキングを行います。(月1回程度)
4月12日(月)～4月30日(金)
30人(先着順)
参加料 無料(スポーツ安全保険料として64歳以下1,600円、65歳以上800円が必要)

☎ 市民スポーツセンター内
☎(市)社会体育課 ☎(34)2071

平成22年度あぐりっこ研修生

募集
四万十農園あぐりっこは、農業に興味を持ち、これから新規就農したい方や農業を営んでおり新たに養液栽培を学んでみたい方のための研修施設です。
研修概要 1棟(15a)のハウスで、ナス・米ナス・普通ナスの養液栽培研修を行います。
研修期間は1～3年間です。
(1年は8月～翌年7月まで)
研修手当 月額120,000円
※研修経費は必要ありません
募集人員 若干名
受付期間 6月11日(金)まで
8時30分～12時、13時～17時15分
(土日祝除く)

☎(本庁)農林課 農業振興係 ☎(34)1117
☎ 四万十農園あぐりっこ研修ハウス ☎(33)1477

大歓迎！！四万十 奥屋内天然色堂『山茶つみ体験』

催し 草木染とまゆうちわ展示会

奥屋内上地区の住民グループ『かじや村の若衆会』が、地域おこしのイベントを開催します。

地区に自生する山茶を摘んでのお茶づくり体験や、その昔に掘った素掘りトンネルを散策します。

お屋は、天ぷらや田舎煮の山菜づくしやアメガの塩焼きなどをご用意しています。

日時 5月9日(日) 10時～15時

場所 奥屋内上公民館 (西土佐奥屋内 簡易郵便局隣)

募集人 30人

参加費 大人3,000円
小学生1,500円
小学生未満 無料

※昼食代込み
※素掘りトンネル散策
※しば餅作り
など

5月6日(木)

ココ ↓ 奥屋内上公民館
● 奥屋内小学校

至江川崎
口屋内小学校
口屋内郵便局

玖木サーキット
黒尊川
至四万十市街

口屋内大橋から15km(20分)
四万十市街から35km(50分)
須崎Cから115km(140分)

問 西土佐体感ツーリズム事務局「山間屋」
申 ☎(31)6474 FAX(31)6475

草木染で作成したのれん、タペストリー、Tシャツ、エコバッグ、まゆうちわ等の展示、販売をします。ぜひお越しください。

※先着10名さまにはまゆうちわをプレゼント

日時 4月15日(木)～18日(日)
9時～16時

場所 四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ (田出ノ川24) ところ内多目的室

問 四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ ☎(31)8400

～四万十花まつり～香山寺ふじまつり

催し 第12回竹屋敷あめぐまつり

藤の名所である香山寺において、「香山寺ふじまつり」を開催します。

紫色や白色に咲き誇る藤の花が皆さまをお待ちしております。お誘い合わせのうえぜひお越しください。

日時 4月17日(土)10時～15時

※雨天決行(荒天中止)

場所 香山寺市民の森

催し物 親子ハイキング

(10時から、先着20名、飲食コーナー、ミニゲームコーナー、琴の演奏、野点、先着150名、1名100円、花の無料配布(14時から、先着200名))

※当日は公園上り口から一般車の通行を禁止しますので、ご協力をお願いします。

※無料送迎バス(市街地循環バス、臨時駐車場をご利用ください。)

循環バス停留所
市役所仮庁舎、具同マル二前、食肉セン
ター前、公園登り口、香山寺市民の森
臨時駐車場
市役所仮庁舎、渡川第2緑地(具同側)、
防災ステーション、公園登り口

四万十市観光振興連絡会議事務局
(仮庁舎)商工観光課 ☎(34)1783
問 (親子ハイキングの申込・問合せは)
四万十市公園管理公社 ☎(34)0608

4月11日(日)8時(受付開始7時)

※河川増水時は25日(日)

場所 旧竹屋敷小中学校(駐車場有り)

内容 あめぐ釣り(レンタル釣具あり)、「農夢民バンド」ライブ、間六口と楽しい仲間たち、あめぐつかみどり(幼児・小学生限定)、飲食・物産コーナー

参加料 あめぐ釣り(エサ代1パック込み) 大人(高校生以上)3,000円、中学生以下1,000円

あめぐつかみどり 小学生500円

竹屋敷活性化協議会
問(夜) ☎(32)1852
(昼)携帯090-8697-4299

ファイティングドッグスがやってくる

催し 2010 土佐弁ミュージカル かんざしファンタジー

昨年、リーグ優勝・独立リーグ日本一に輝いた高知FDが四万十スタジアムにやってきます。夢を追いかける若者の真剣なプレーを親にスタジアムまでお越しください。

場所 四万十スタジアム(安並)

日時 5月9日(日) ※雨天中止

試合開始 13時(予定)

入場料 高校生以上1,000円(前売り800円)
中学生以下 500円(前売り400円)

※当日チケットはスタジアムで購入できます。

※前売りチケットについてのお問い合わせは、高知ファイティングドッグス球団事務所
☎088(878)0775
四国アイランドリーグチケットセンター
☎087(822)2677

サポーター会員も募集中です

問 四万十市観光振興連絡会議事務局(商工観光課)
連 ☎(34)1783 FAX(34)2525

「土佐弁ミュージカル」は外国人と日本人の役者が身近な土佐弁で演技やダンスを披露することにより、草の根の国際交流を深めているものです。

生活の一部となっている「土佐弁」を使うことで、土佐のさまざまな風俗や偉人を広く市民に知っていただくとともに、土佐弁の素晴らしさを再認識する機会にもなっています。

日時 4月24日(土)10時～11時30分

入場 所 市立文化センター

入場料 無料

(講演後、皆さまのご協力で募金活動を行い、海外留学を希望する県内の学生への助成金としていきます。)

土佐弁ミュージカル実行委員会
問 代表:スティーブン・ユイン(高知県文化・国際課内)
☎088(823)9605

声

交通安全は環境対応を

高齢化が進み、老人の事故や死者が増えていきます。安全対策をさらに進めるには安全環境が必要です。

車は左側通行なのにどうして右ハンドルなのでしょう。左ハンドルなら事故対象となる歩行者、バイク、自転車、構築物、路肩がより近くで直視確認できて安全度は高まります。右ハンドルで車の反対側を確認するのでは大変な差があります。これを各関係者に訴えています。理解はしてくれませんが動いてくれません。前からそうになっているから～ややこしい～だそうです。

次に交差点の横断歩道の位置を交差点からもっと離すこと。現在は車が曲がりかかったところに歩道があり運転者は、右側からの車・右折車・歩行者を瞬時に確認しなければなりません。車が左折し終わって歩道に直角に対面できてからだと横断者の確認はさらに高まります。なぜ？…の疑問が仕事や物事の改善・改革につながります。 曾我部 正彦 (古津賀)

募集

「なんちゃクラブ」メンバー 勧誘のお知らせ

幡多の山河と住民を心から愛し、その未来を心底心配している人たちの自由な語らいの永続的な時間と場所を創造しました。一切の枠を取り外し、いかなる政治的宗教的信条の持ち主であっても、束縛されたり阻害される事無く、全く自由に思う事信じる道を他人へまじめに伝える事のできる、純粋に民間による「相互理解」の場所です。

参加資格：一切の制限無し、誰でも出入り自由、難しい会則など有りません。

新年度4月中に第一回の「フリートークなんちゃ」を予定しています。

詳しくは下記までお気軽にどうぞ。

世話人 天同 叶

略歴 72歳妻と市内に在住。新制中学6期生昭和28年卒業。

FAX 35-0701

携帯メール：ohn.kanau.tendow@docomo.ne.jp

E-mail：ohn-kanau-tendow@tenor.ocn.ne.jp



今月の



国際交流員

紀艶です

皆さん、ありがとうございます。ごさいました

テーマを何にしようかと考えるのに長い時間がかかりました。「さようなら」と言うとき悲しく、「また会いましょう」と言うとき「またいつか会えるかな」と思いました。こういうふうな考えながら、1年間のことを思い出して、別れの寂しさを感じました。

去年の4月10日、四万十市に入った瞬間の風景、歓迎会の歓声などを、まるで昨日のことのようにはつきり覚えていますが、この1年間は、私にとって思い出の多いものとなりました。

市役所

では、日常業務をはじめ職員の方々にいろいろお世話になりました。市民祭なから踊りのチームで、一生懸命練習したことや、本番で演技したことは、今思い出してもすごく感動します。中国語講座、訪問した小中学校、シルバークラス、職場研修の皆さんと一緒に中国語の勉強や中国についての話をしながら、楽しい時間を過ごすことができました。地域における多彩な催しに見学に行った時、地元の人に親切に話かけてもらって、大変楽しくて勉強になりました。そして、滞在中に参加した多くの活動などで出会った方々のやさしさも感動しました。また、いつもこの広報を読んでいただいている皆さんにも心から感謝します。

たくさんお世話になったことに対して、どう報いるか分からないですが、皆さんと一緒に過ごした時間を宝物のように大切にしたいと思います。

今、私

の心の中には話したいことがたくさんありますが、一言にまとめたなら、やはり「ありがとう」がとうございました。がもっとも現在の気持ちや伝えられると思います。すごく簡単な言葉にもかかわらず、本音が表せる一言であると思います。

赤鉄橋の上で清らかな四万十川を眺めていて、目に映る風景がもうすぐ思い出になると思ったら、もっと寂しく感じました。

お別れ

を言いたくないけれど、も、言わなければならぬ時が来ました。「さようなら」ではなく「じゃ、またね」。絶対会えることを信じています。



皆さん、元気でね。では、中国に会いに来てくださいね。

人のうごき ～2月末日現在～ ()内は、前月との差

総人口	36,507人(+3)	転入	78人
男	17,261人(+1)	転出	67人
女	19,246人(+2)	出生	28人
世帯数	16,185戸(+14)	死亡	36人

当直医

4月4日(日)	市民病院	☎(34)2126
11日(日)	吉井病院	☎(34)5005
18日(日)	市民病院	☎(34)2126
25日(日)	中村クリニック	☎(34)5100
29日(祝)	さくらクリニック	☎(35)2555
5月2日(日)	市民病院	☎(34)2126
3日(祝)	森下病院	☎(34)2030
4日(祝)	山下整形外科	☎(34)0511
5日(祝)	幡多病院	☎(34)6211
9日(日)	こいけクリニック	☎(35)5112

日直指定水道業者



●水道料金は口座振替で●

4月3日(土)	(株)奥宮工業	☎(37)5151
4日(日)	(有)大同設備	☎(35)4879
10日(土)	(有)石井建設	☎(33)0404
11日(日)	(有)山下建設	☎(33)0653
17日(土)	豚座建設(株)	☎(34)6031
18日(日)	(有)平野水道	☎(35)2316
24日(土)	(株)四電工中村営業所	☎(34)1331
25日(日)	溝渕設備	☎(34)3734
29日(木)	森下住宅器機	☎(34)4855
5月1日(土)	土居水道工事店	☎(32)1095
2日(日)	中村水道工事センター	☎(35)4323
3日(月)	(株)中村住設	☎(34)3621
4日(火)	(有)大杉設備工業	☎(34)2324
5日(水)	(有)福永工業	☎(35)5996
8日(土)	(有)カキタ二設備	☎(33)0660
9日(日)	岡崎プロパン(株)	☎(35)3458

水道に関する問い合わせは
 (本 庁) 水道課 ☎(34)1711
 (総合支所) 住民課 ☎(52)1111

編集 後記

■4月は出会いの季節です。本年度も取材を通じてすてきな出会いがたくさんあることを期待しています。
 さて、今月号は、お知らせしたいことが多く編集に苦労しました。なんとと言っても今月は、市議会議員選挙が行われます。新しい庁舎も完成しました。また、市民病院に脳外科の先生が新しく着任されました。そして新年度予算のもと新しい施策もスタートします。などなど、新しい年度のスタートにふさわしいお知らせを満載した4月号をよろしく願います。
 (企画広報課編集室)

四万十川清流保全基金に寄付

財団法人 四万十市体育協会(原田勝美会長)さまから第2回地域・スポーツ振興賞の優秀賞受賞を記念して3月6日、四万十川の清流保全のために五万円のご寄付をいただきました。
 また、株式会社サニーマートさまから「環境寄付」として、三万三千八百一十円のご寄付をいただきました。これは、家電エコポイントの商品交換に「サニーマート商品券」を利用いただいた金額の一部です。
 四万十川の清流保全のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

寄付御礼

西土佐用井の佐々木桂子さまから社会福祉に役だててほしいと、金二十万円のご寄付をいただきました。
 四万十市社会福祉基金へ積み立てし、社会福祉事業のために使用させていただきます。誠にありがとうございます。

有料広告

有料広告掲載スペース

有料広告を掲載しています。掲載については企画広報課 ☎(34)6128までお問い合わせください。

発行：四万十市 編集：企画広報課
 〒7878501 広報公聴係
 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地



TEL 34-1111 (代表) 広聴 FAX 0120-459787
 四万十市 URL: http://www.city.shimanto.lg.jp/
 Eメール: kouhou@city.shimanto.lg.jp